

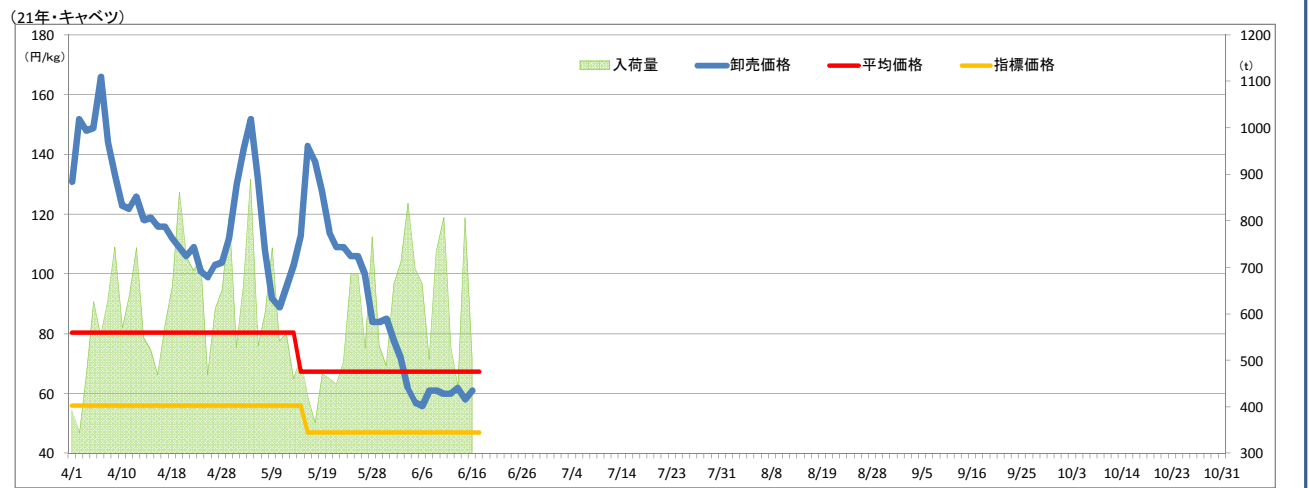
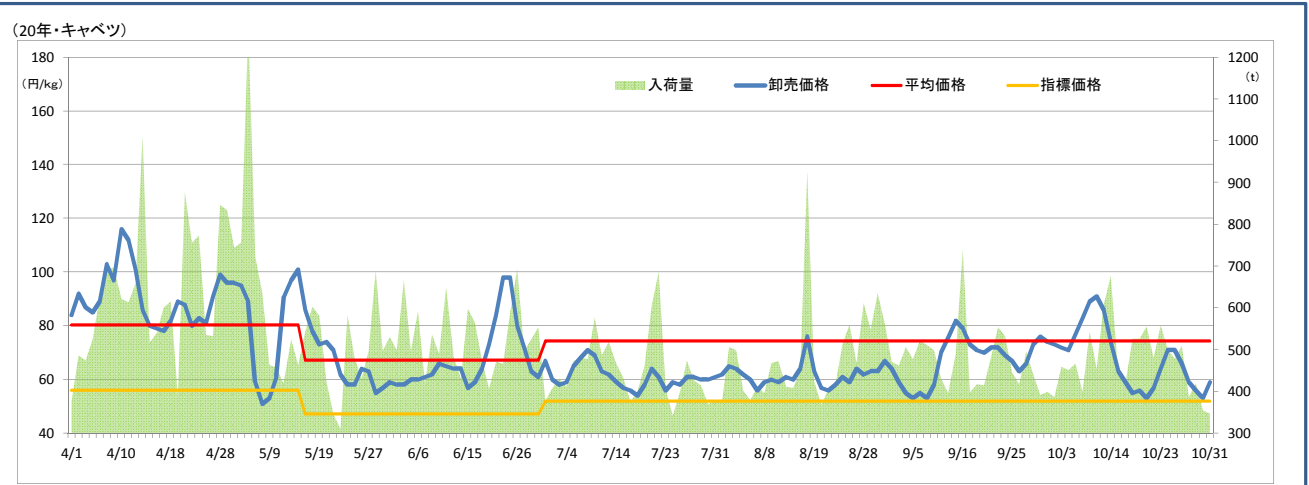
21 年産夏秋野菜の需給・価格の見通し

—第 4 回野菜需給・価格情報委員会(平成 21 年 6 月 11 日開催)より—

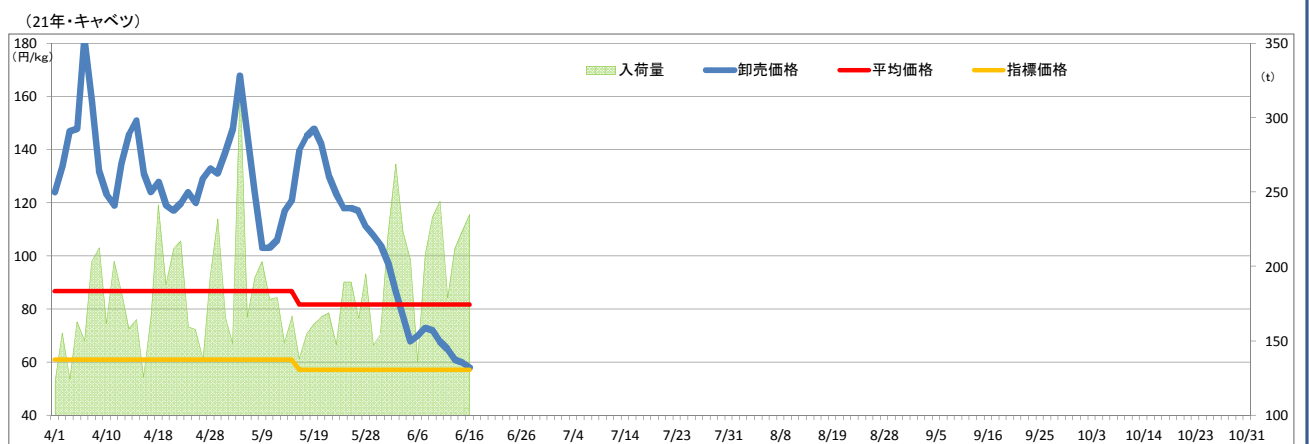
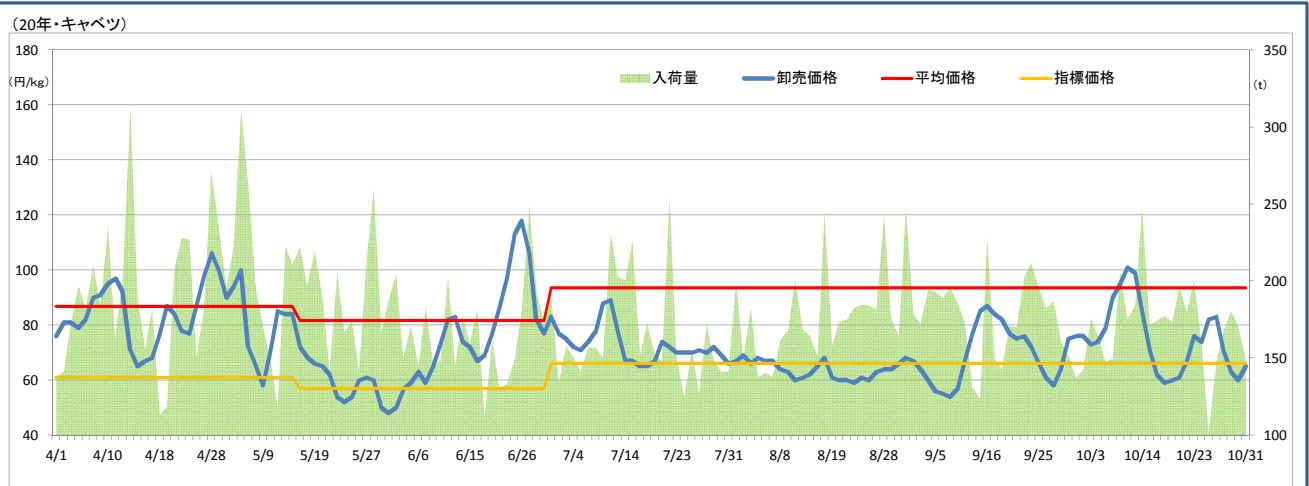
夏秋キャベツ（7月～10月）の需給・価格の見通し

1. これまでの入荷量と価格の推移

①東京都中央卸売市場



②大阪市中央卸売市場



2. 生産出荷状況をめぐる状況

(1) 供給計画

平成21年の夏秋キャベツの供給計画によると、全農が3月に策定した当初計画では、作付面積は対前年101%（系統共販分）、10アール当たりの収量を前年並としたことにより、収穫量は101%、出荷量は102%としたところである。

○当初計画

作付面積 (ha)			10a当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
21年	20年	前年比	21年	20年	前年比	21年	20年	前年比	21年	20年	前年比
5,665	5,613	101	5,884	5,858	100	333,342	328,804	101	296,999	290,602	102

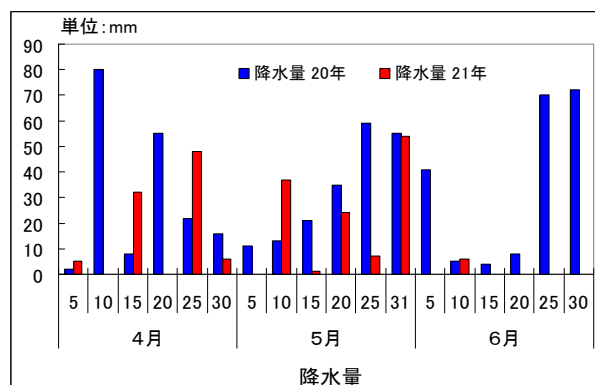
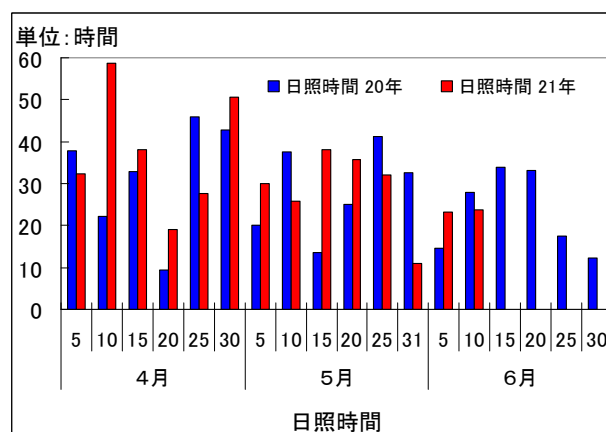
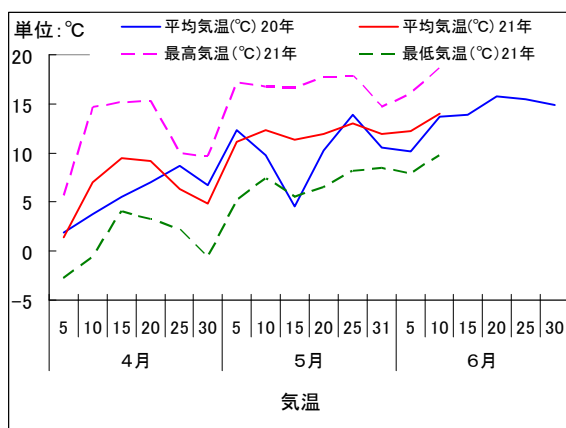
(2) 生産（生育）・出荷状況

資料3-4のとおり

(3) 天候

①これまでの気象の推移（群馬県 嬭恋村）

気温は、4月後半の急激な低下が特徴で5月に入ってから安定して推移している。日照時間は前年に比べて4月で130%、5月～6月上旬の計で104%となっている。降水量は前年に比べて全体的に少なく4・5月計で60%、6月上旬単独では13%と小雨傾向が続いている。



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、
 原資料：気象庁「AMeDAS」

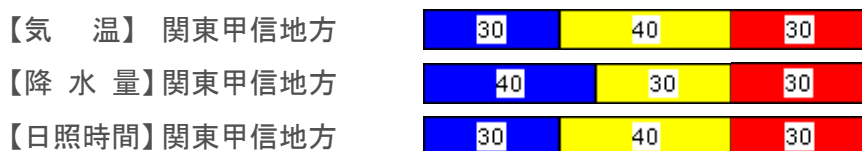
② 気象予報 関東甲信地方

◆ 1ヶ月予報(6月12日から7月9日までの天候見通し)気象庁 6月12日発表

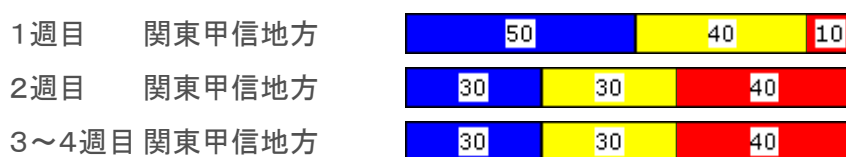
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。週別の気温は、1週目は低い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



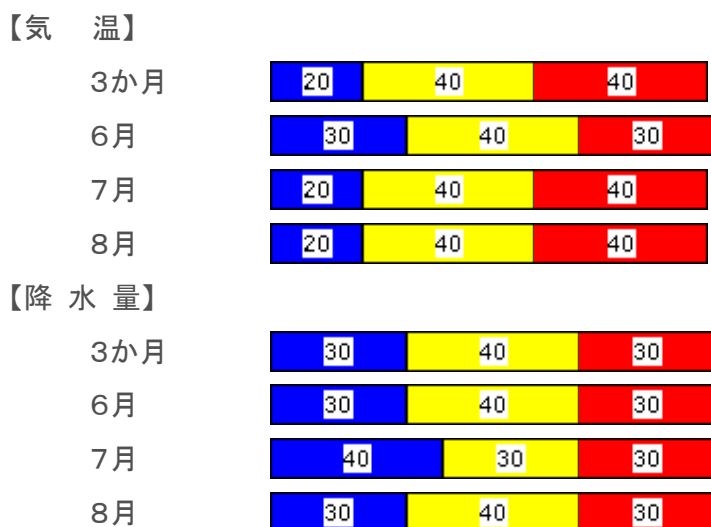
凡例: 低い 平年並 高い

◆ 3か月予報 (6月から8月までの天候見通し) 気象庁 5月25日発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。この期間の平均気温は平年並または高い確率ともに40%です。6月 天気は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。7月 天気は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。気温は平年並または高い確率ともに40%です。8月 天気は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。雷雨の起こりやすい時期がある見込みです。気温は平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

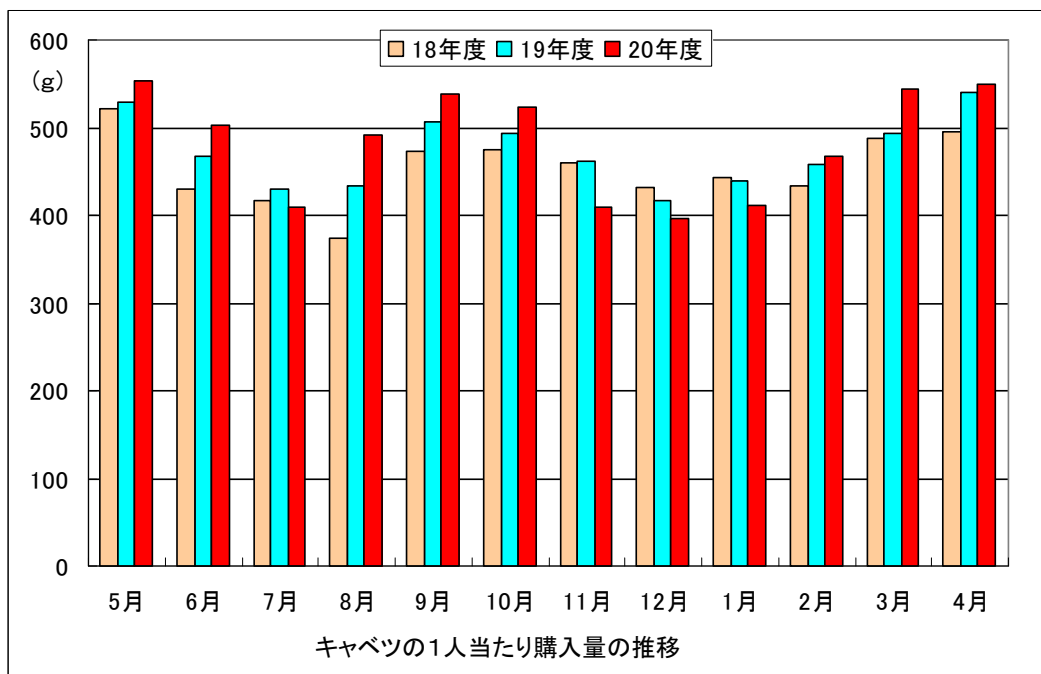


3. 需要動向

(1) 家計消費

① 1人当たり購入数量

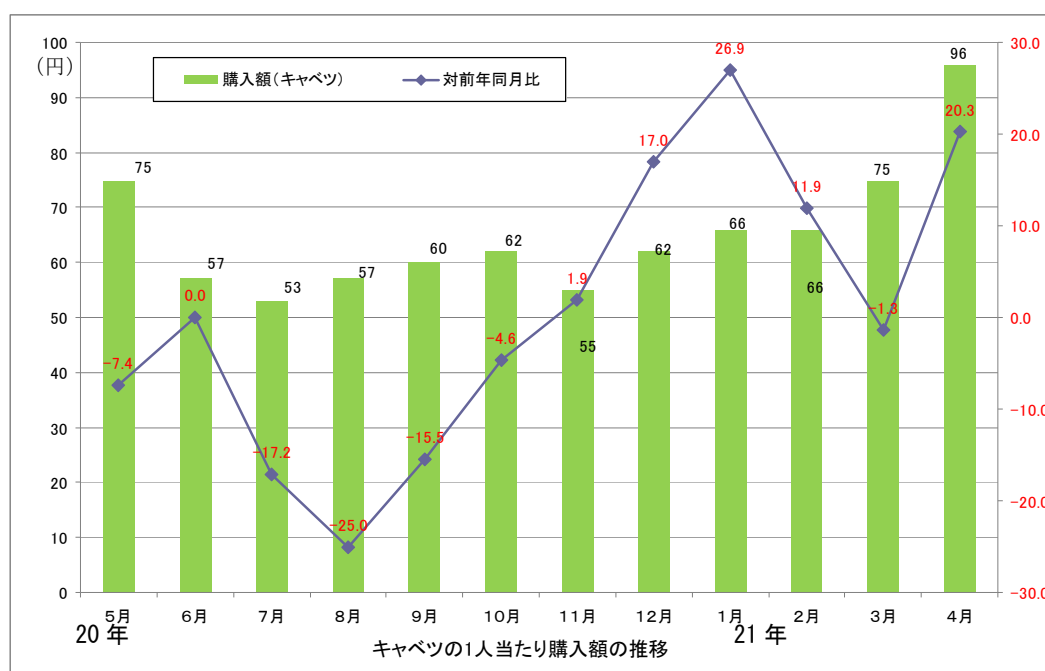
20年の8月から10月は豊作傾向もあり安値基調で購入量が過去2年に比べ伸びていたが、11月から1月にかけては逆に過去2年を下回る傾向となっている。21年の2月から4月にかけては、再び購入量が過去2年を上回った。



資料：家計調査報告（総務省）

② 1人当たり購入金額

20年夏秋期の価格低落により、8月から10月の購入量が伸びたが、購入金額は前年を大きく下回った。11月から1月にかけては品薄から高値となり、購入量が過去2年を下回ったが、購入金額は前年を上回った。

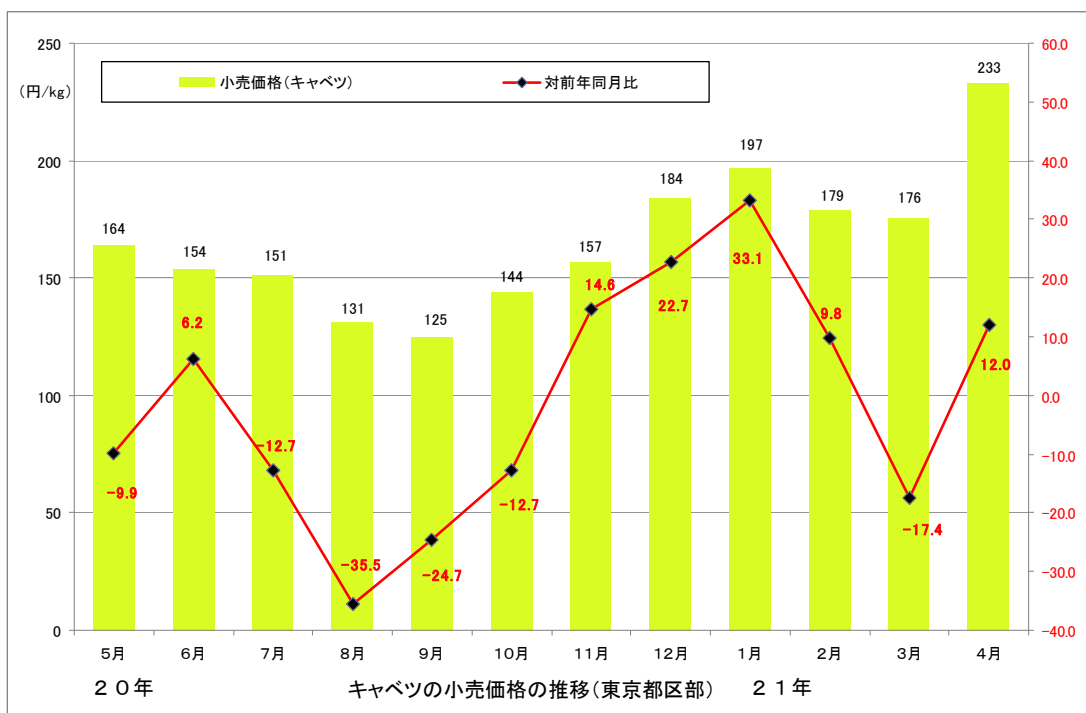


資料：家計調査報告（総務省）

(2) 小売価格・消費者物価指数

① 小売価格（東京都区部）

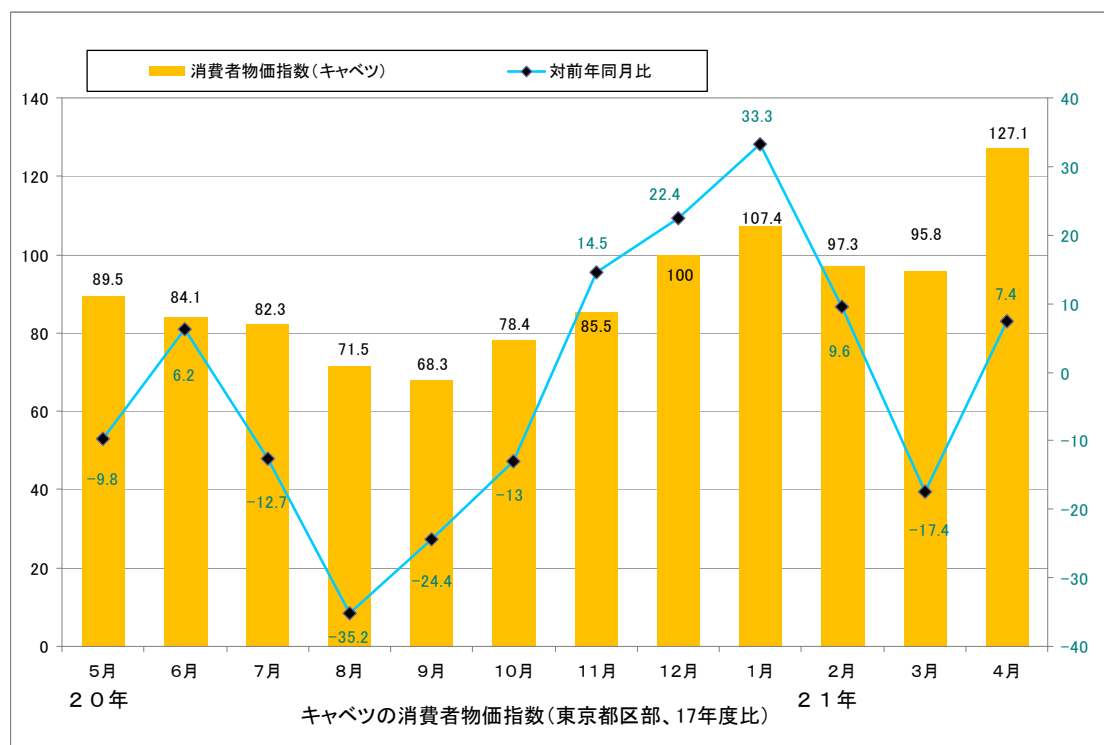
豊作傾向の夏秋期の7月から10月にかけて前年を大きく下回り、出荷量の少なかった11月から1月では前年を上回る価格推移となった。



資料：小売物価調査（総務省）

② 消費者物価指数（東京都区部）

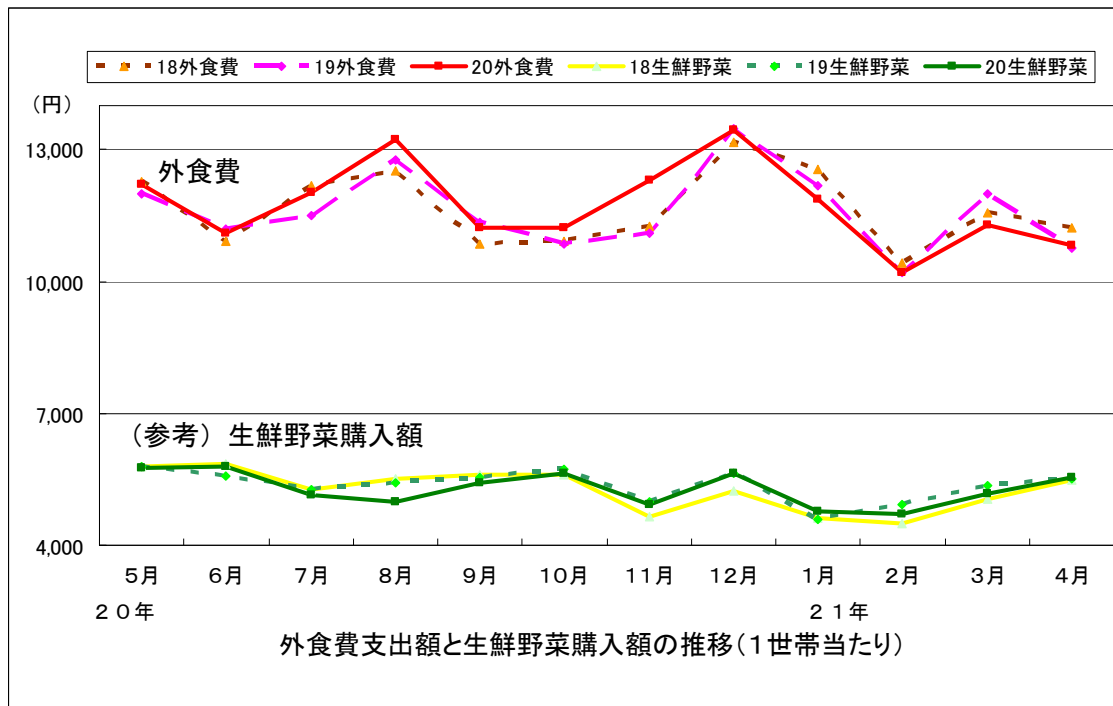
概ね小売価格の推移と同じ傾向となっている。



資料：消費者物価指数（総務省）

(3) 外食費支出額

例年8月と12月は外食支出が高くなる傾向がある。今年に入り、前年・前々年に比べ、外食費は低い推移となっている。

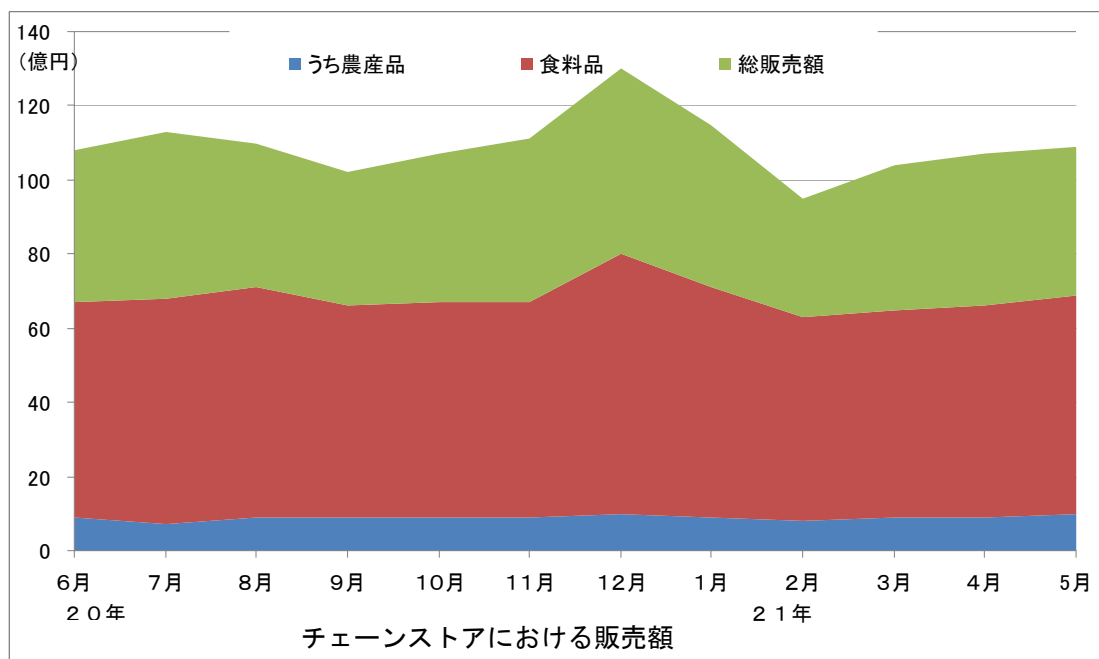


資料：家計調査報告（総務省）

(4) チェーンストアの販売動向

① 販売額の推移

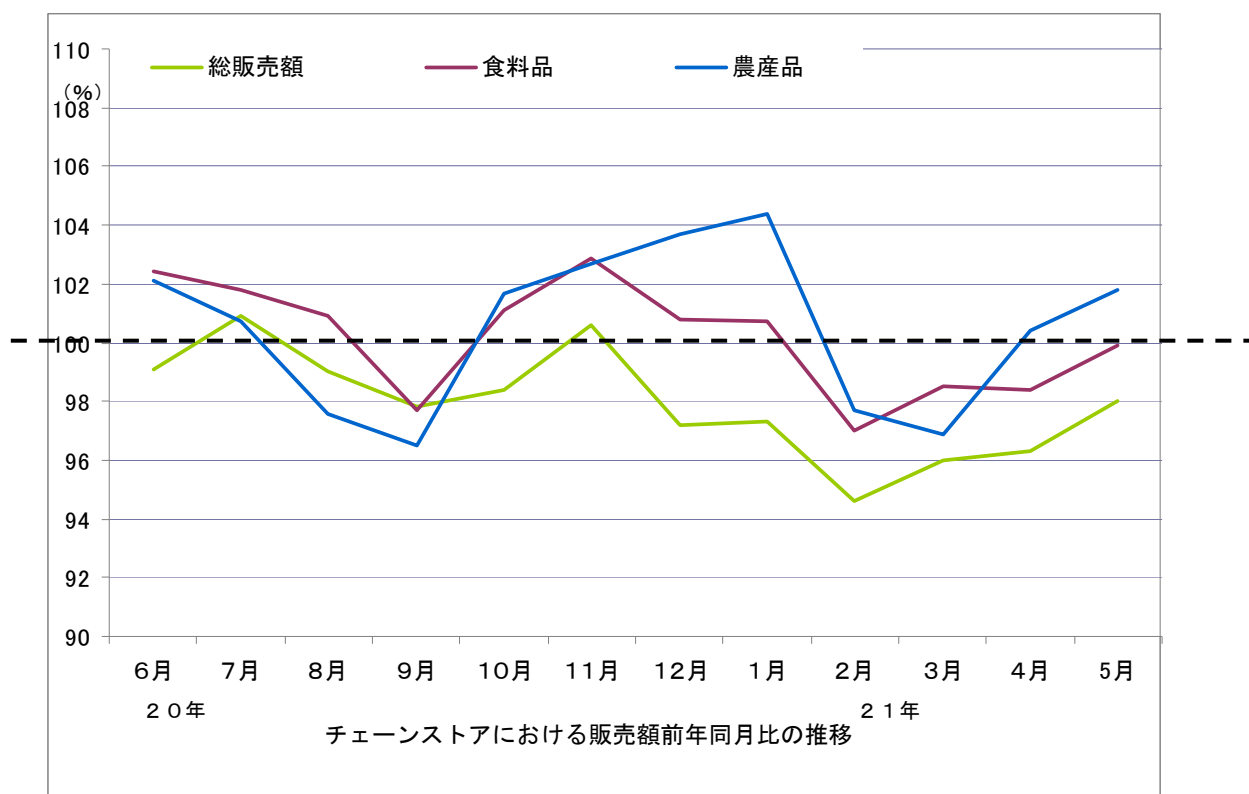
総販売額・食料品は12月にもっとも多く、2月に低迷している。農産品はほぼ年間一定の販売額となっている。



資料：チェーンストア協会資料

② 販売額の前年同月比推移

総販売額・食料品は2月から4月にかけて前年より大きく落ち込んだが若干回復基調にある。農産品は2月から3月にかけて急速に落ち込んだが4、5月で前年水準程度までに回復した。



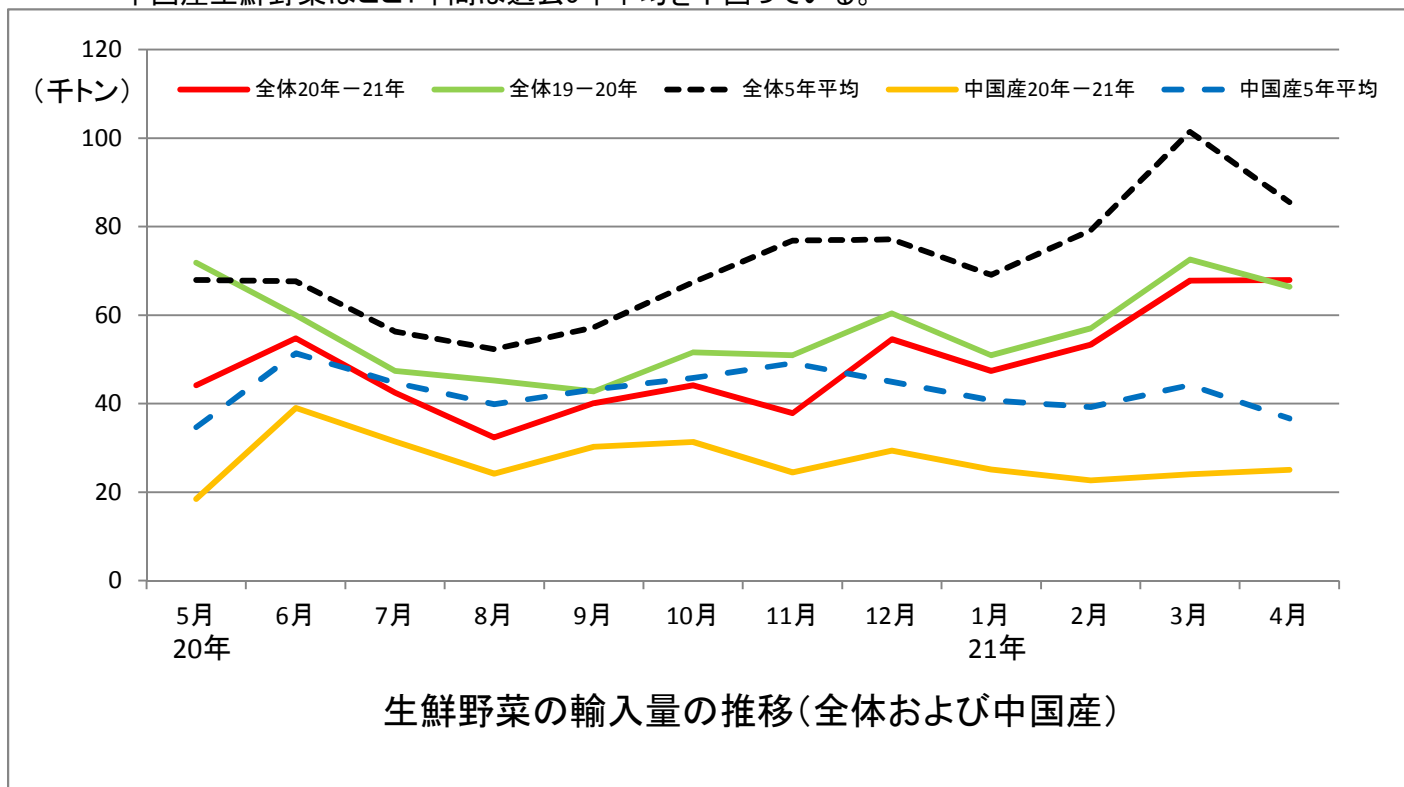
資料：チェーンストア協会資料

○輸入動向

① 生鮮野菜の輸入動向

生鮮野菜の全体量ではここ2年間(赤・緑)は過去5年平均を下回っている。

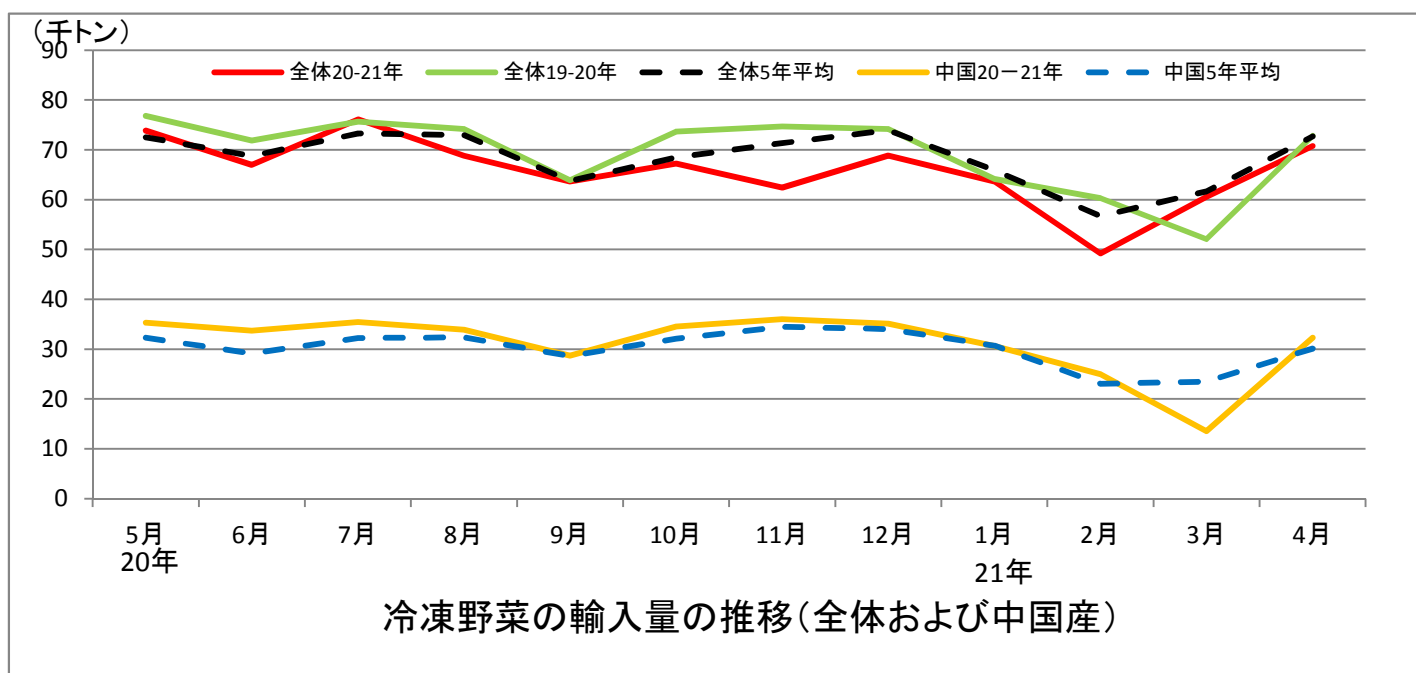
中国産生鮮野菜はここ1年間は過去5年平均を下回っている。



資料:貿易統計(財務省)

② 冷凍野菜の輸入動向

生鮮野菜がここ2年が過去5年平均の水準から実績を落としているのに対し、冷凍野菜では平均水準並みの推移となっている。



資料:貿易統計(財務省)

③ 野菜の輸入実績(上位5品目、平20年)

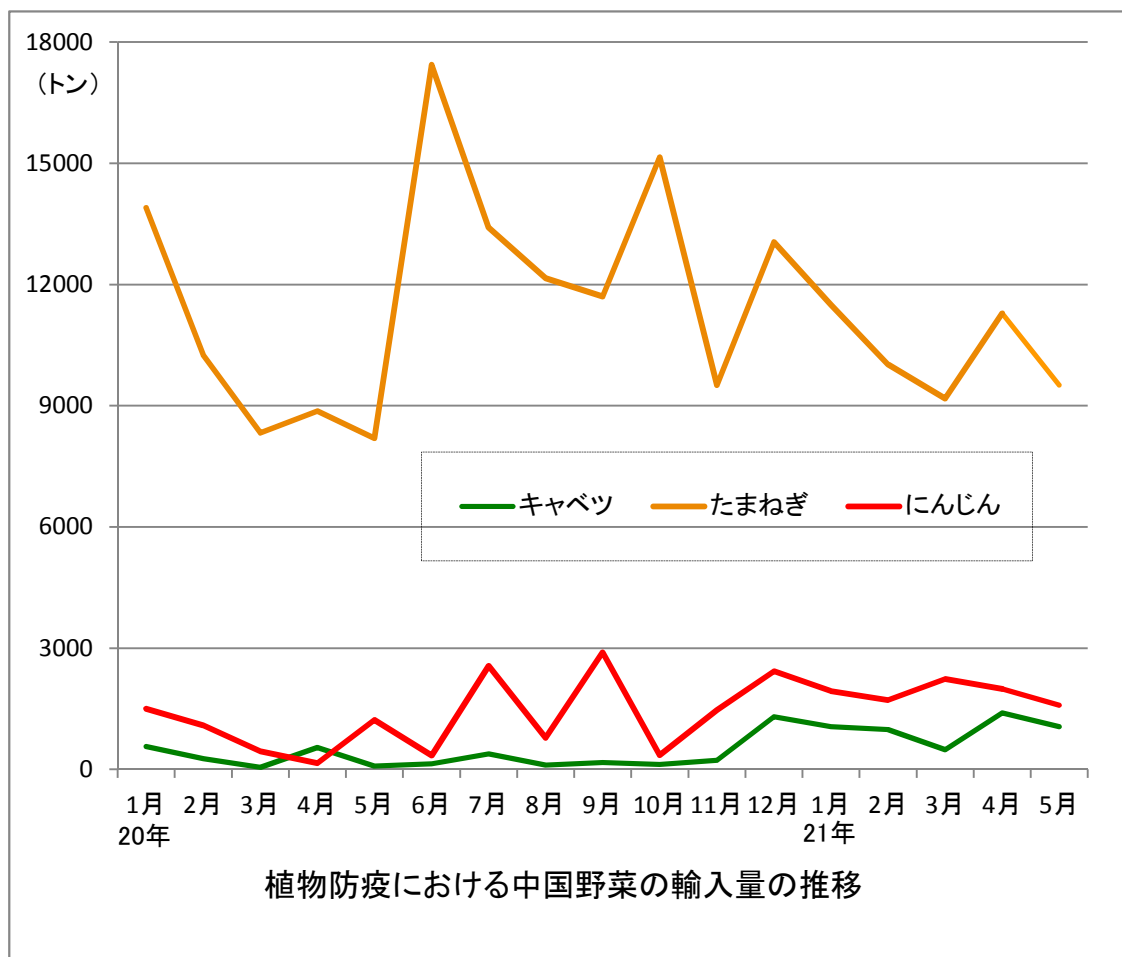
○生鮮	(トン)
① たまねぎ	184,178
② かぼちゃ	100,379
③ ごぼう	44,762
④ にんじん かぶ	43,004
⑤ ねぎ	33,568

○冷凍	(トン)
① ばれいしょ	315,732
② えだまめ	55,654
③ スイートコーン	44,762
④ さといも	43,004
⑤ いちご	33,568

資料:貿易統計(財務省)

④ 植物防疫における中国野菜の輸入量の推移

現在まで、たまねぎは昨年とほぼ同じ水準で、波形も類似した推移となっているが、キャベツとにんじんは昨年の秋頃から回復基調で推移している。



資料: 植物防疫検査所資料(農林水産省)

(参考2)

○夏秋キャベツ過去における市場隔離等の実施状況

年度	実施時期	実施数量 (t)
S55		
56	9月上旬～10月中下旬	3,938
57	7月下旬～8月上旬	655
58	7月下旬	15
59	8月上旬～10月下旬	11,632
60	7月中旬～10月上旬	10,858
61	8月下旬～9月中旬	8,900
62		
63		
H元		
2		
3		
4	10月下旬	1,895
5	7月下旬	649
6		
7	10月上旬	1,174
8	8月上旬～9月上旬	7,112
9		
10		
11		
12	8月下旬～10月中旬	11,225
13	9月上旬	4,406
14		
15		
16	8月下旬	3,787
17	8月中旬～8月下旬	17,629
18		
19		
20	9月中旬	5,600

4. 夏秋キャベツの需給・価格の見通し

- ・ 作付面積は前年並、低温の影響を受けたものの、生育は平年並。

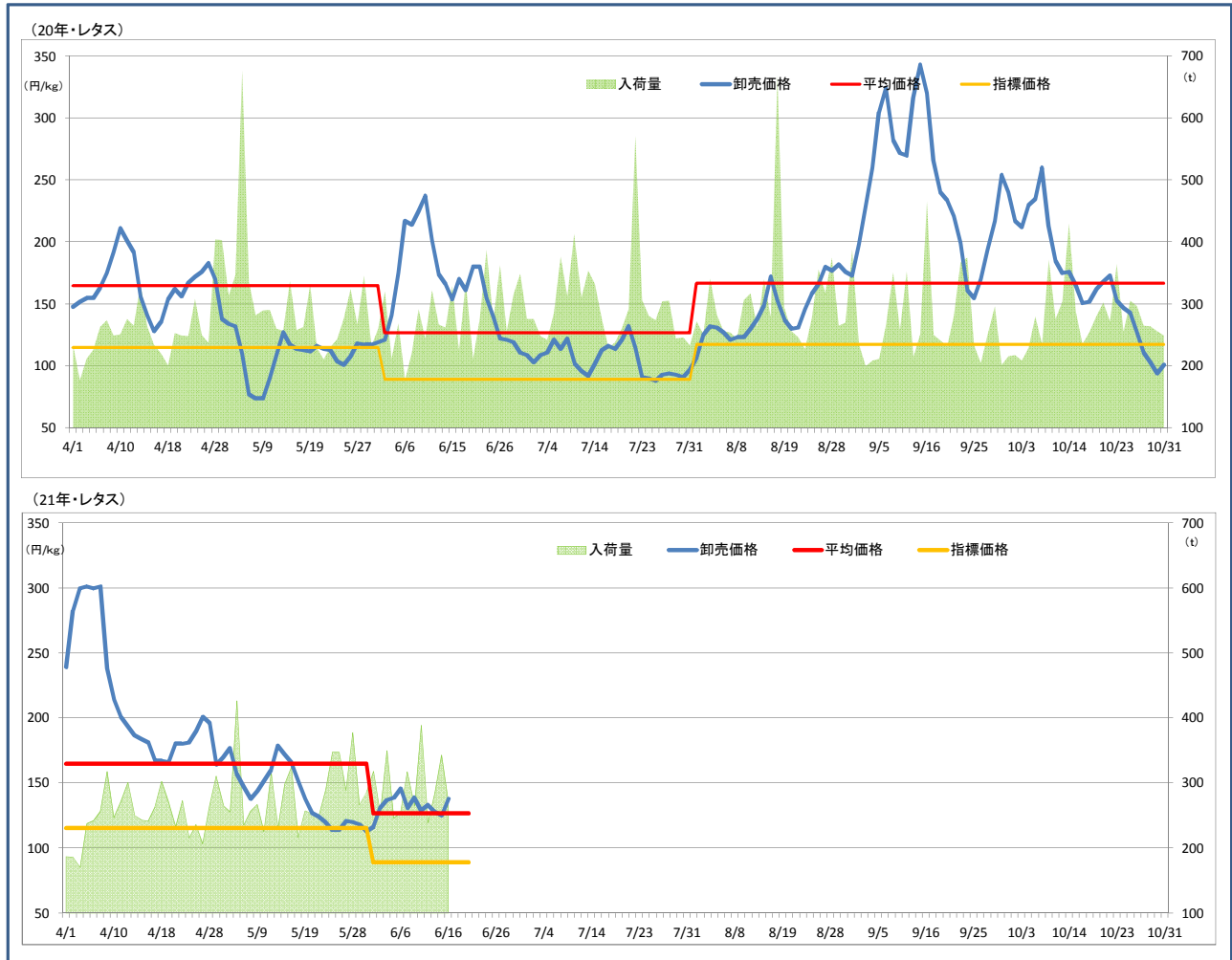
今後、気象が平年並に推移すれば、特に多かった前年並の出荷が見込まれる。

- ・ 価格は、国内価格に応じた輸入の動向に左右されるものの、前年並か、ややこれを上回ることが見込まれる。
- ・ なお、九州市場における熊本県産キャベツの供給状況により、関東産（群馬・長野）キャベツの九州への出回り量、ひいては、京浜市場の価格も影響を受けることもあり得ることを考慮する必要がある。

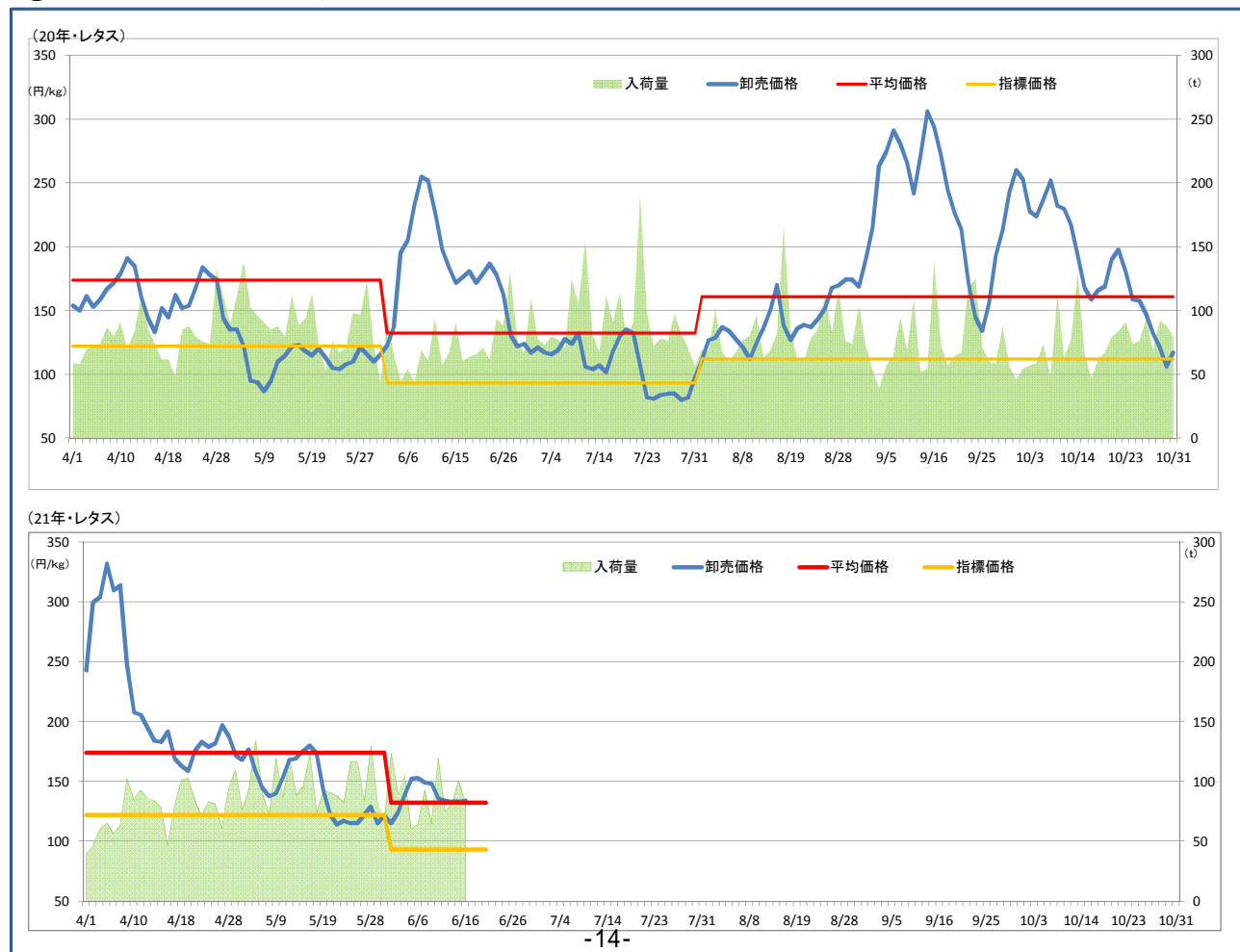
夏秋レタス(6月～10月)の需給・価格の見通し

1. これまでの入荷量と価格の推移

① 東京都中央卸売市場



② 大阪市中央卸売市場



2 生産出荷をめぐる状況

(1) 供給計画

平成21年の夏秋レタスの供給計画によると、全農が3月に策定した当初計画においては、作付面積は対前年比102%（系統共販分）、10アール当たり収量101%を見込み、収穫量・出荷量は103%としたところである。また、5月に策定した確定計画においては、前年比105%の出荷量を見込んでいる。

○当初計画

作付面積 (ha)			10a 当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
21年	20年	前年比	21年	20年	前年比	21年	20年	前年比	21年	20年	前年比
6,529	6,425	102	2,867	2,836	101	187,175	182,237	103	177,104	172,757	103

○確定計画

全国出荷量 (t)			うち系統出荷量 (t)		
21年	20年	前年比	21年	20年	前年比
194,603	183,947	105	183,693	174,584	105

(2) 生産（生育）・出荷状況

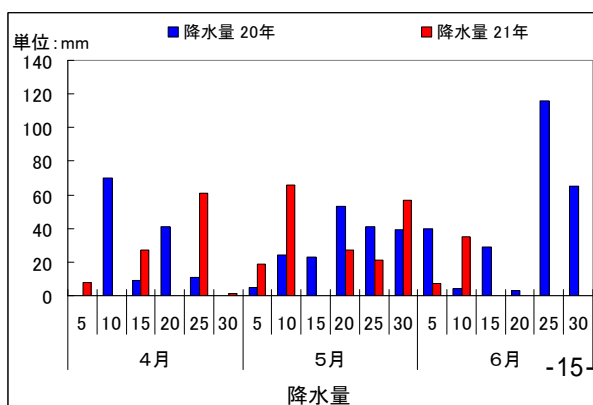
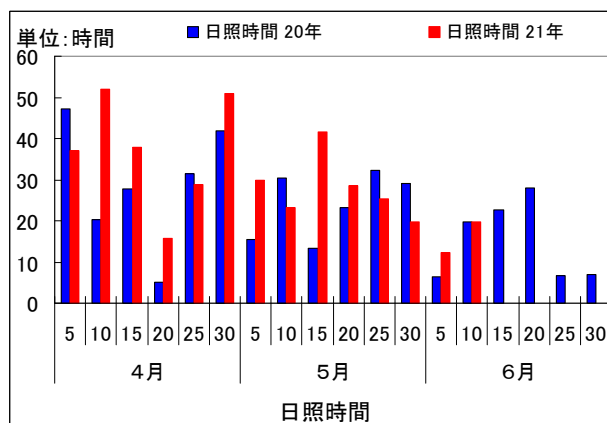
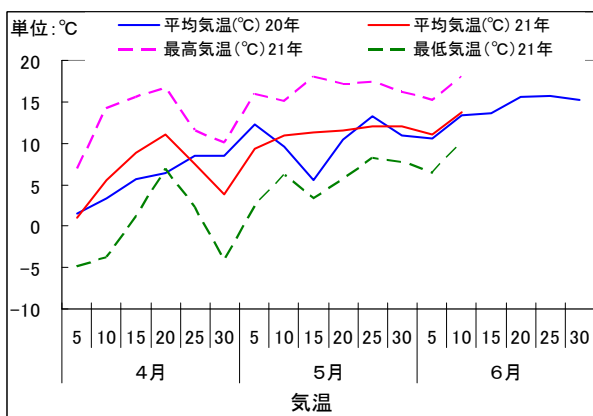
資料3-4のとおり

(3) 天候

①これまでの気象の推移（長野県 南牧村）

気温は4月後半に入って5℃近くも低下したが、5月に入ってから回復し前年並みの水準で推移している。日照時間は前年に比べて4月で137%、5月で117%、5月から6月上旬の合計では120%となっている。降水量は、4月は対前年で83%となったが、5月から6月上旬までの合計では対前年で101%となっている。

気温・降水は概ね前年並であるが、日照時間が多いのが特徴となっている。



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、
原資料：気象庁「AMeDAS」

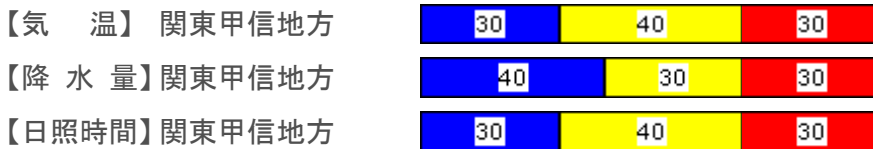
② 気象予報 関東甲信地方

◆ 1ヶ月予報 (6月6日から7月5日までの天候見通し) 気象庁 6月12日発表

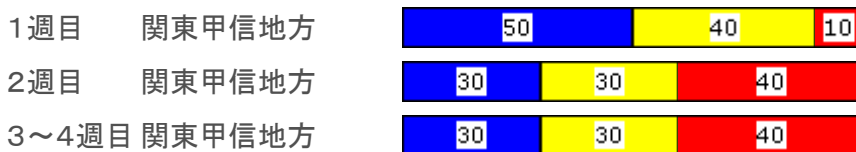
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。週別の気温は、1週目は低い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



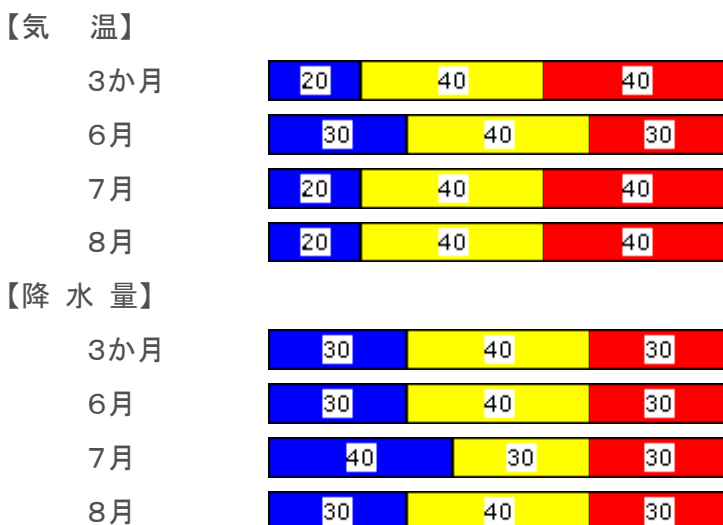
凡例: ■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

◆ 3か月予報 (6月から8月までの天候見通し) 気象庁 5月25日発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。この期間の平均気温は平年並または高い確率ともに40%です。6月 天気は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。7月 天気は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。気温は平年並または高い確率ともに40%です。8月 天気は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。雷雨の起こりやすい時期がある見込みです。気温は平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>



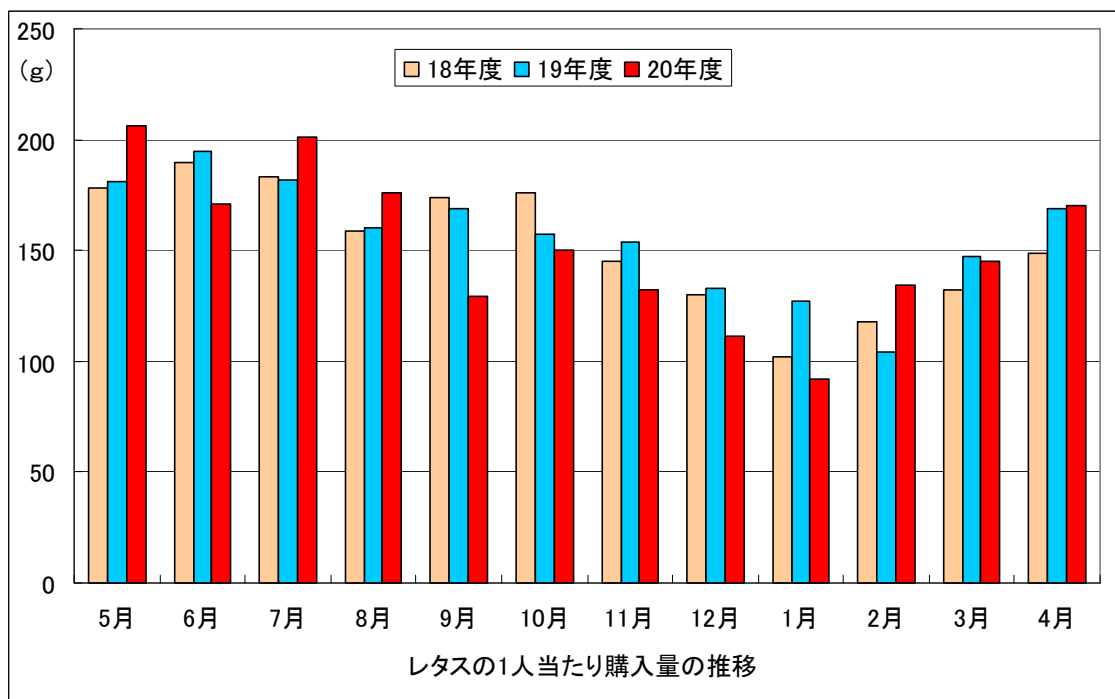
凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3 需要動向

(1) 家計消費

① 1人当たり購入数量

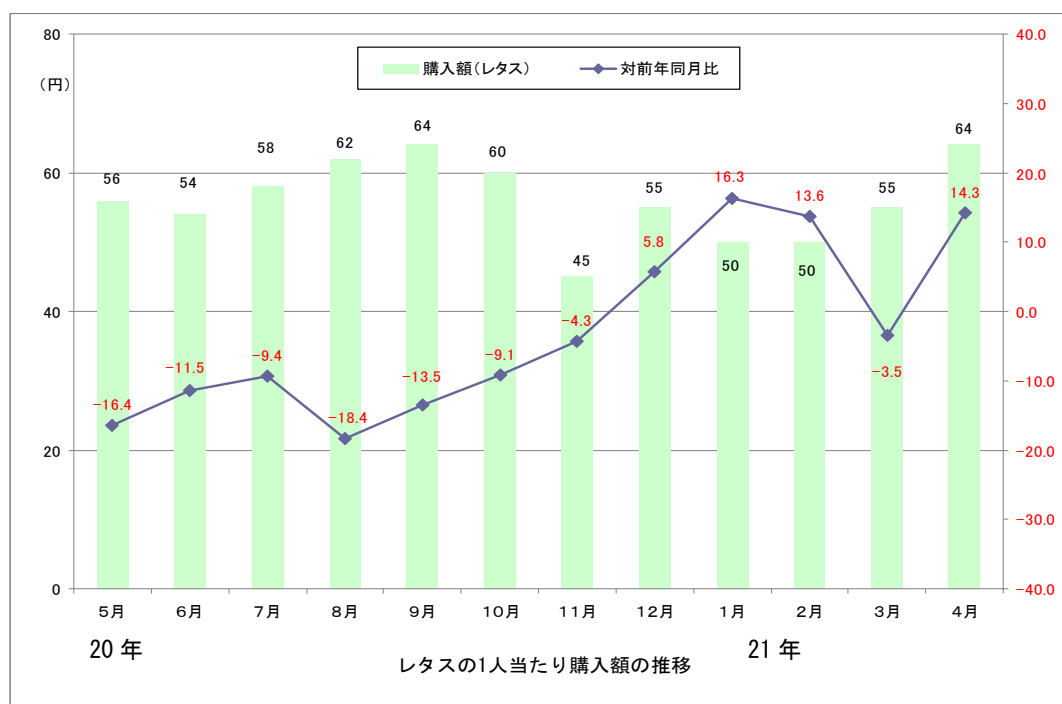
安値推移の7月から8月は前2年を超える購入量で推移したが、9月から12月は品薄による高値となり、購入量は前2年を下回る推移となった。



資料：家計調査報告（総務省）

② 1人当たり購入金額

7月から8月は安値により購入量は伸びたが、価格の低落により、金額ベースで前年を割り込んだ。9月から11月は高値推移により購入量の減少が見られ、金額で前年を下回る推移となった。

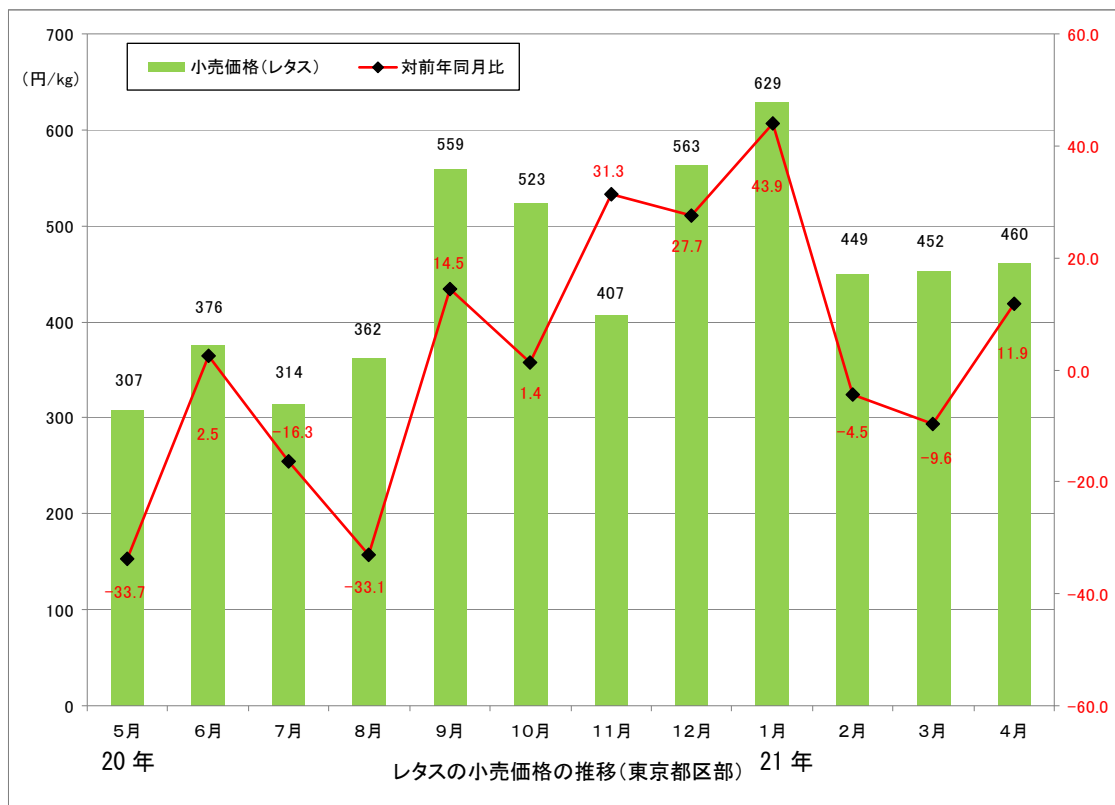


資料：家計調査報告（総務省）

(2) 小売価格・消費者物価指数

① 小売価格（東京都区部）

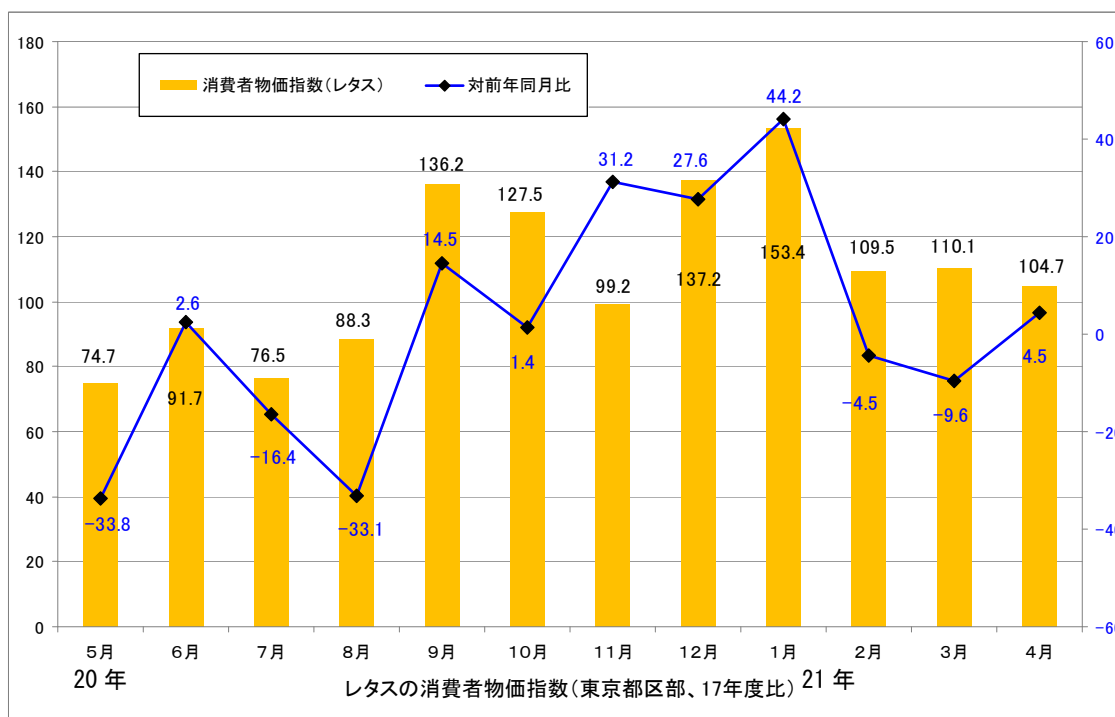
20年の7月から8月は入荷が多く、市況が低迷し小売価格も下がった。10月から1月にかけては、定植遅れや低温等の影響により入荷が平年を下回り、高値推移となった。



資料：小売物価調査（総務省）

② 消費者物価指数（東京都区部）

概ね小売価格の推移と同じ傾向となっている。



資料：消費者物価指数（総務省）

(参考)

○夏秋レタスの過去における市場隔離等の実施状況

年度	実施時期	実施数量 (t)
10	8月上旬	588
11	6月下旬～7月上旬	2,699
12		
13	7月下旬	1,324
14	7月中旬	1,914
15	7月上旬～中旬	576
16	8月中旬	410
17	6月中旬～8月下旬	6,112
18		
19		

4. 夏秋レタスの需給・価格の見通し

- ・ 一部産地での非結球から結球への変化などがあるものの、作付面積は前年並、生育状況は平年並。

今後、気象が平年並に推移すれば、播種期・生育初期の雨にたたられた前年をやや上回る入荷が見込まれる。

- ・ 価格は、平年ないし、平年を下回ることが見込まれる。

ただし、特にレタスは、ゲリラ豪雨・台風などの天候によって作柄が激変する可能性がある。

- ・ なお、消費については、肉食回帰の傾向が見られるものの、依然として加工用・業務用を中心とした需要が強く、契約取引の主力品目であるため、国内需給の動向が輸入の増加(カリフォルニア産)につながることに注意を要する。

だいこん たまねぎ にんじん はくさいの需給・価格の動向

1. 入荷量と価格の推移

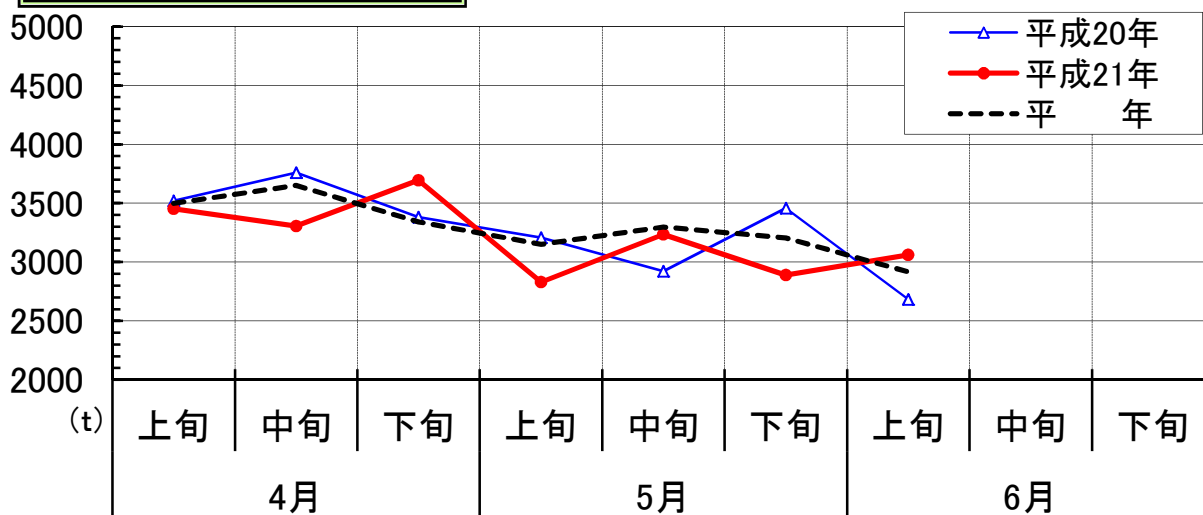
【だいこん】（主な産地：千葉、埼玉）

○4月上旬の入荷量は3月下旬の低温の影響から平年を下回り、5月もほぼ平年を下回って推移した。

○4月の価格は入荷量の減少から平年を上回り、5月中旬は入荷量の上昇から前年を下回りその後平年を上回って推移した。

入荷動向

（東京都中央卸売市場）



	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
平成20年	3,519	3,760	3,381	3,208	2,923	3,458	2,684		
平成21年	3,451	3,306	3,694	2,829	3,234	2,889	3,061		
平 年	3,498	3,652	3,342	3,150	3,296	3,204	2,918		

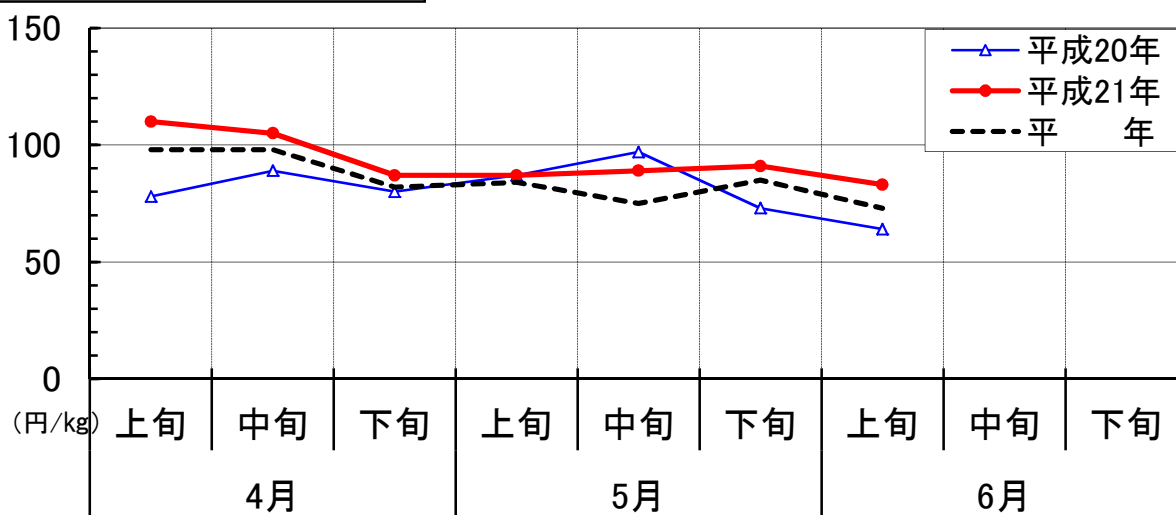
資料：東京青果物情報センター「東京都中央卸売市場における青果物の産地別入荷数量及び価格」

注：平年とは、過去5ヵ年（平成15年～19年）の旬別価格の平均値である。

出典：東京青果物情報センター

価格動向

（東京都中央卸売市場）



	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
平成20年	78	89	80	87	97	73	64		
平成21年	110	105	87	87	89	91	83		
平 年	98	98	82	84	75	85	73		

資料：東京青果物情報センター「東京都中央卸売市場における青果物の産地別入荷数量及び価格」

注：平年とは、過去5ヵ年（平成15年～19年）の旬別価格の平均値である。

出典：東京青果物情報センター

2 生産出荷をめぐる状況

(1) 供給計画

平成 21 年のだいこんの供給計画によると、全農が 2 月に策定した当初計画(7 月～9 月)においては、作付面積は対前年比 101% (系統共販分)、10 アール当たり収量 101%を見込み、収穫量は 102%、出荷量は 104%としたところである。確定計画の策定は 6 月末であり、未定である。

○当初計画

作付面積 (ha)			10a 当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比
2,964	2,941	101	4,442	4,393	101	131,650	129,207	102	104,999	100,985	104

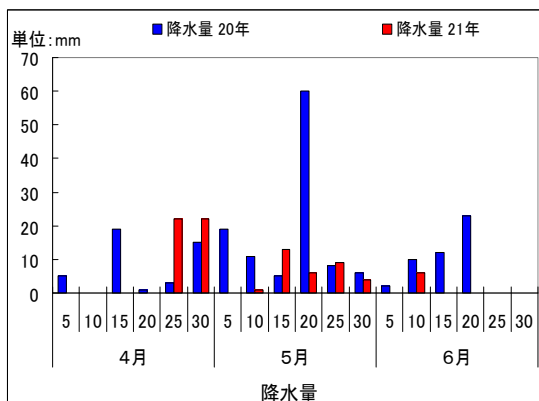
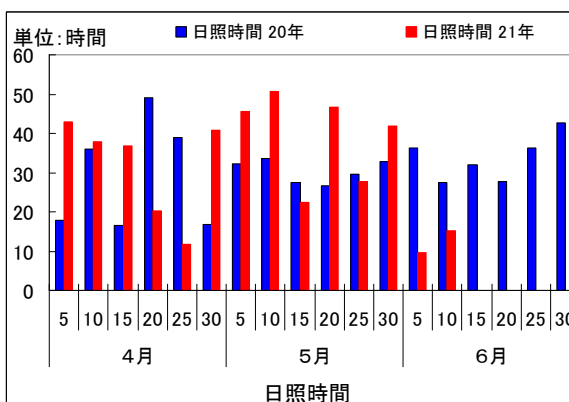
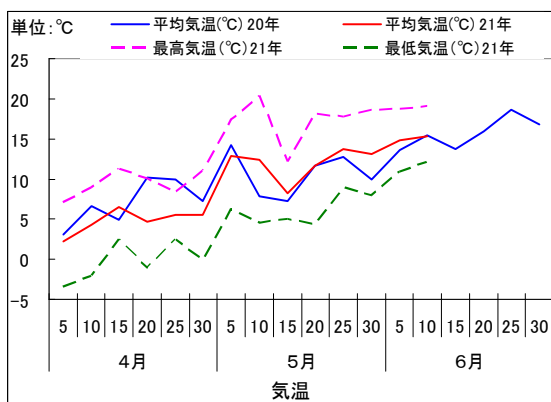
(2) 生産(生育)・出荷状況

資料 3-4 のとおり

(3) 天候

①これまでの気象の推移(北海道 倶知安)

平均気温は 4 月は前年を下回る日が多かったが 5 月以降回復しており 5 月～6 月上旬までの積算は前年比 110%である。日照時間は 5 月は前年を上回っていたが、6 月上旬は積算 38%と落ち込んでいる。降水量は 5 月～6 月上旬までの積算で 32%と小雨傾向が続いている。



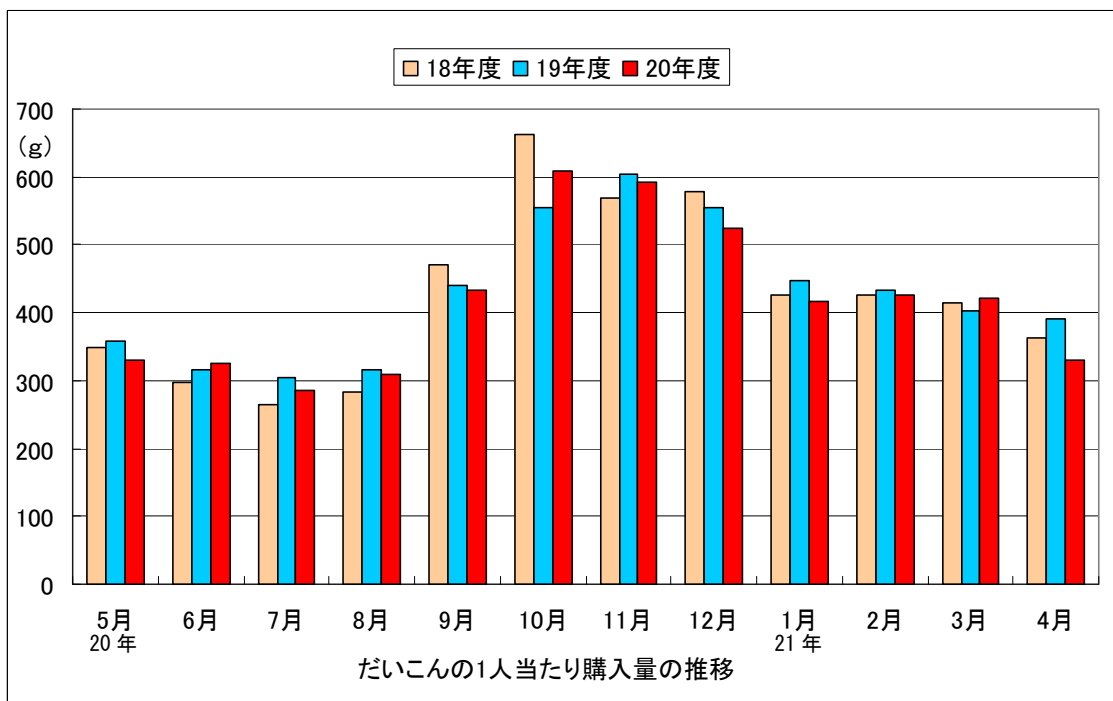
資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」、
原資料: 気象庁「AMeDAS」

3 需要動向

(1) 家計消費

① 1人当たり購入数量

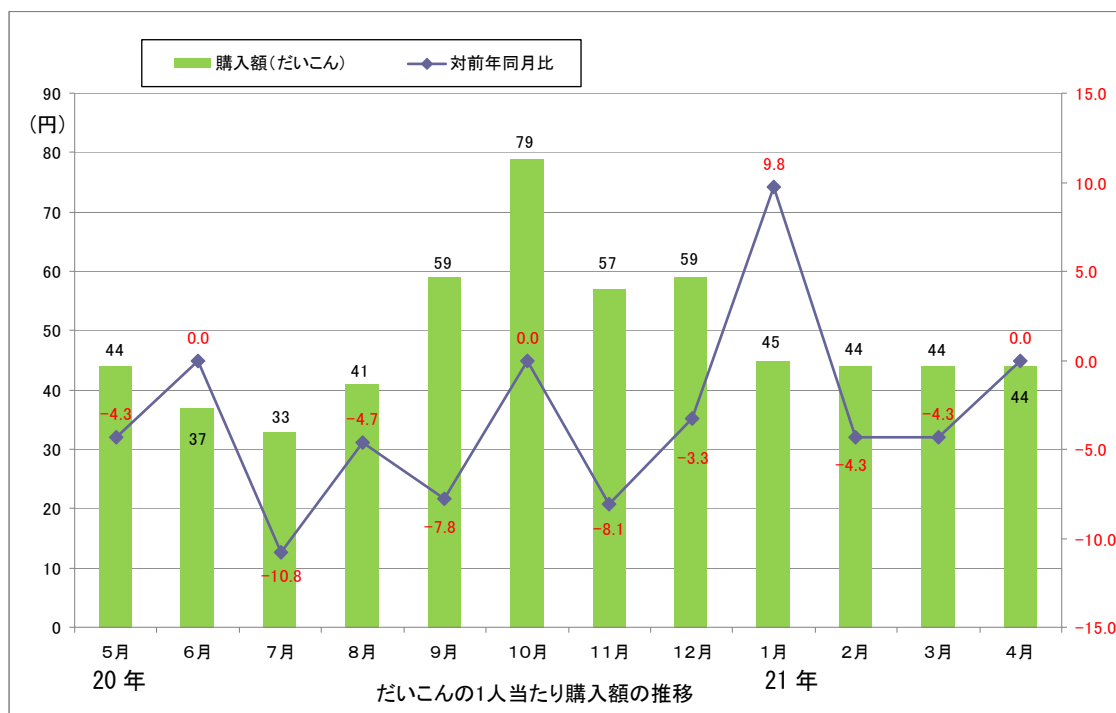
安値で推移した20年7月～8月は、小売価格が低迷し、圃場隔離も実施したが、購入数量には特に大きな変化が見られなかった。



資料：家計調査報告（総務省）

② 1人当たり購入金額

小売価格が低迷した7月は購入金額も落ち込んだ。小売価格が高めで推移した1月は、購入量は減少したものの、購入金額は前年から大きく伸びた。



資料：家計調査報告（総務省）

1. 入荷量と価格の推移

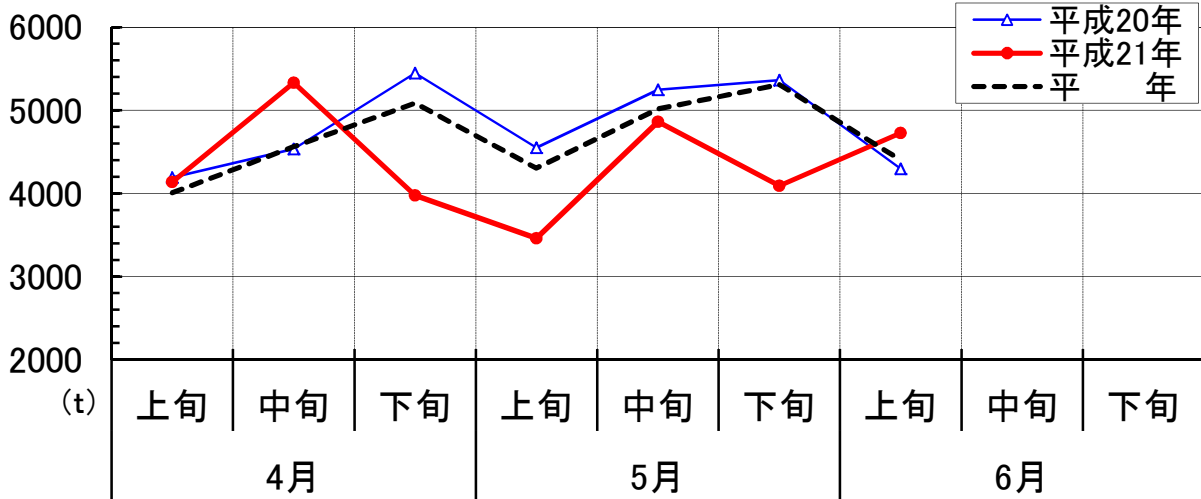
【たまねぎ】（主な産地：佐賀、兵庫）

○4月中旬以降小玉化の影響から入荷量は平年を下回って推移し、6月上旬には平年を上回った。

○入荷量の減少した4月下旬から価格は、概ね平年を上回って推移した。

入荷動向

（東京都中央卸売市場）



	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
平成20年	4,191	4,534	5,449	4,552	5,248	5,362	4,295		
平成21年	4,138	5,333	3,975	3,460	4,862	4,091	4,729		
平年	4,006	4,562	5,087	4,302	5,015	5,308	4,399		

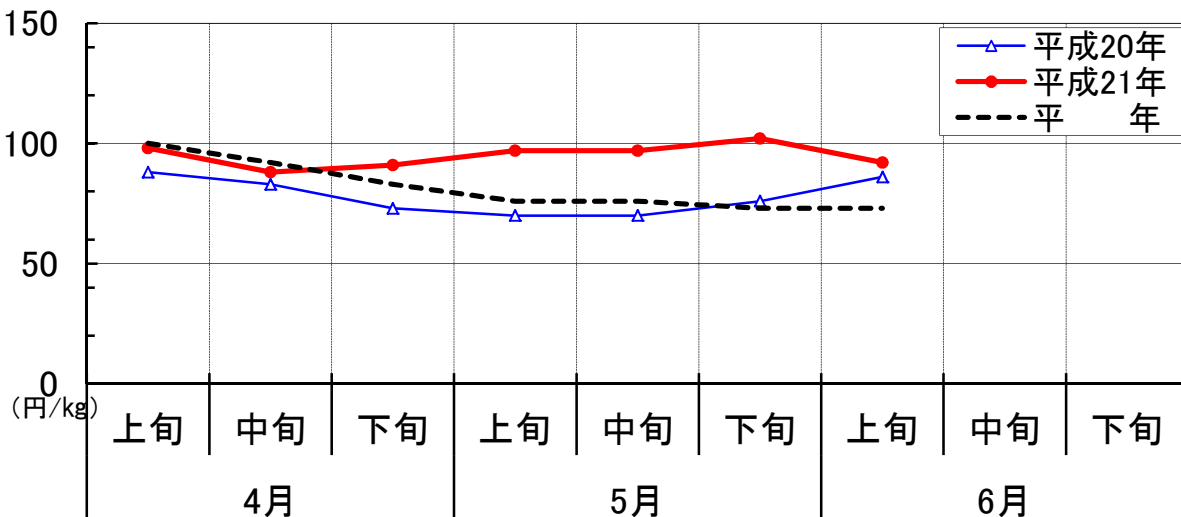
資料：東京青果物情報センター「東京都中央卸売市場における青果物の産地別入荷数量及び価格」

注：平年とは、過去5ヵ年（平成15年～19年）の旬別価格の平均値である。

出典：東京青果物情報センター

価格動向

（東京都中央卸売市場）



資料：東京青果物情報センター「東京都中央卸売市場における青果物の産地別入荷数量及び価格」

注：平年とは、過去5ヵ年（平成15年～19年）の旬別価格の平均値である。

出典：東京青果物情報センター

2 生産出荷をめぐる状況

(1) 供給計画

平成21年のたまねぎの供給計画によると、全農が9月に策定した当初計画(4月～10月)では、作付面積は対前年101%(系統共販分)であるが、10アール当たりの収量は前年並みを見込み、収穫量100%、出荷量を102%としたところである。3月末策定の確定計画で全国出荷量は対前年101%、系統出荷量は対前年102%と発表。

○当初計画(系統共販分)

作付面積 (ha)			10a 当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
21年	20年	前年比	21年	20年	前年比	21年	20年	前年比	21年	20年	前年比
10,757	10,692	101	5,284	5,293	100	568,409	565,920	100	518,386	509,732	102

○確定計画

全国出荷量 (t)			うち系統出荷量 (t)		
21年	20年	前年比	21年	20年	前年比
689,878	682,182	101	430,708	423,054	102

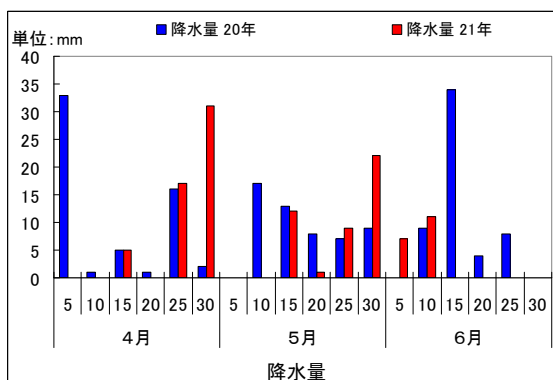
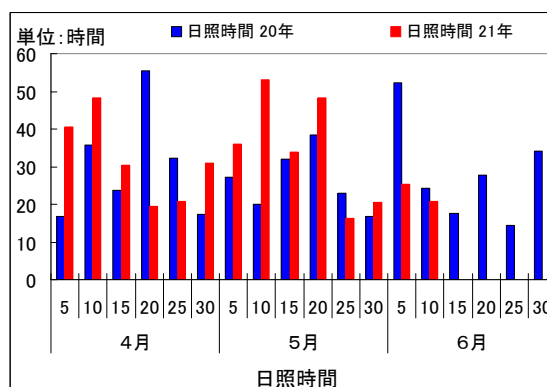
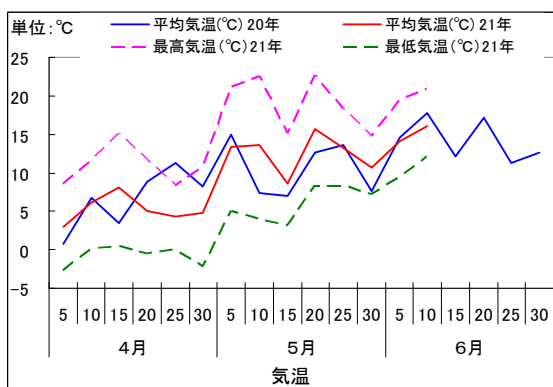
(2) 生産(生育)・出荷状況

資料3-4のとおり

(3) 天候

①これまでの気象の推移(北海道 北見)

平均気温は5月上旬以降、前年よりやや高めで推移している。日照時間は5月から6月上旬にかけては積算で前年比109%で推移している。降水量は5月から6月上旬で前年比110%の推移となっている。



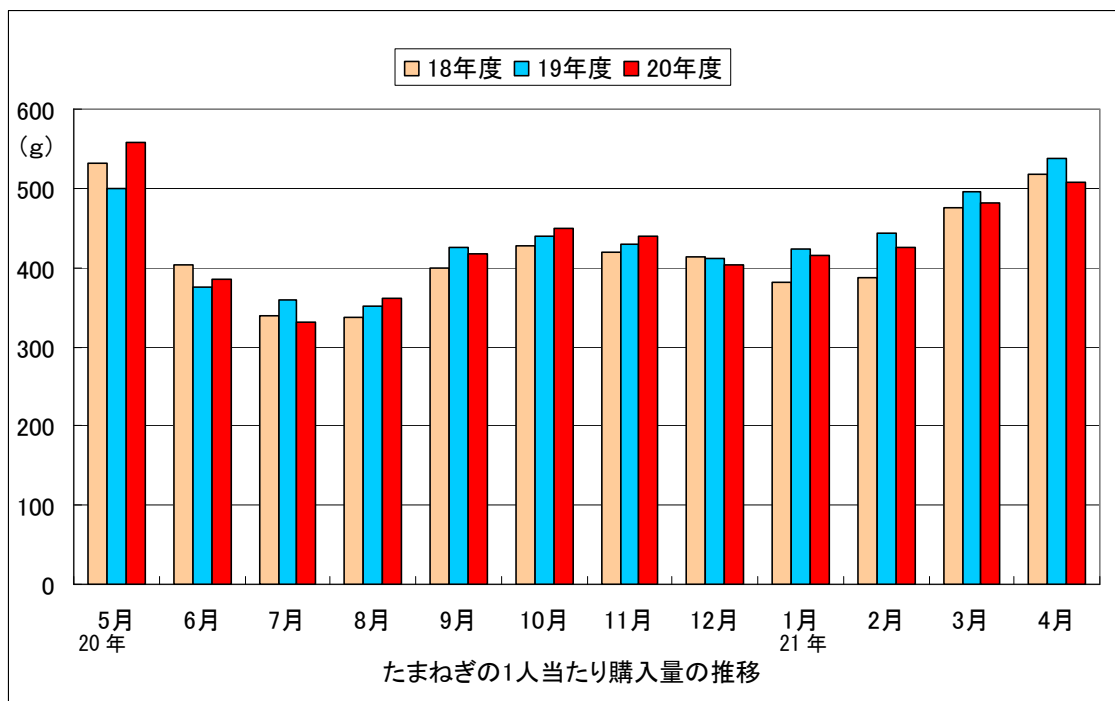
資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」、
原資料: 気象庁「AMeDAS」

3 需要動向

(1) 家計消費

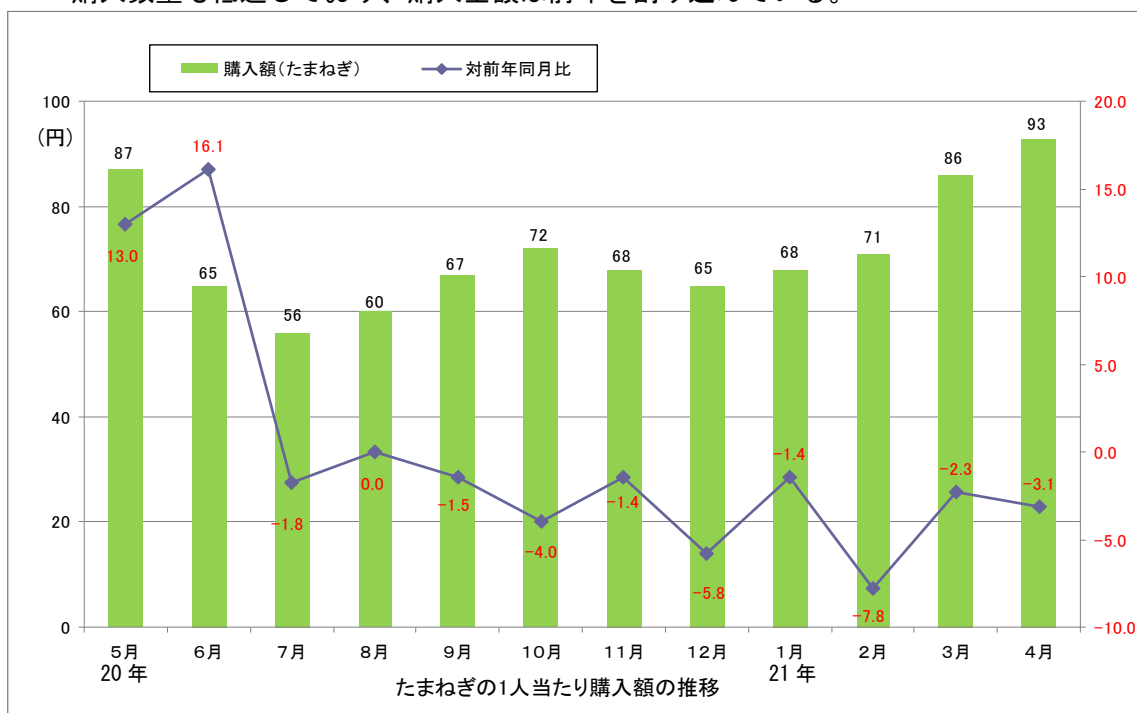
① 1人あたり購入数量

20年の12月から翌年3月にかけては、安値傾向であった前年よりも小売価格が上昇したこともあり、購入数量で前年を割り込んだ。



② 1人あたり購入金額

20年6月は、安値基調の前年より小売単価が大きく上昇したため、購入数量の変化のわりに購入金額が伸張した。20年12月から3月にかけては、価格は前年より高く、購入数量も低迷しており、購入金額は前年を割り込んでいる。



資料：家計調査報告（総務省）

1. 入荷量と価格の推移

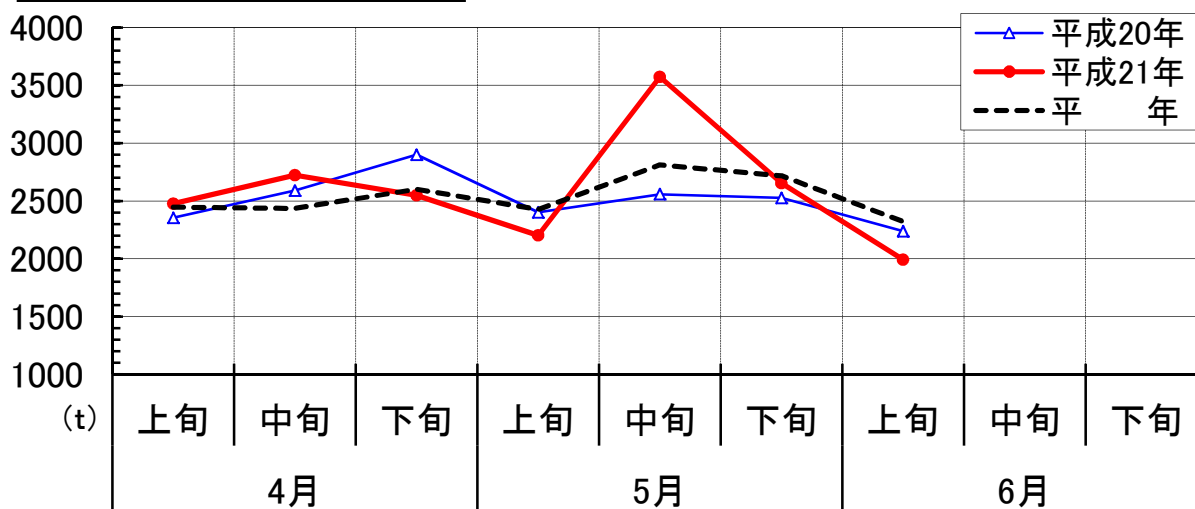
【にんじん】（主な産地：徳島、千葉）

○4月の入荷量は平年並みに推移し、5月に入り関東産が本格化し入荷が増加し、5月下旬から減少した。

○4月から5月の価格は、入荷量の増加とともに平年を下回って推移した。

入荷動向

（東京都中央卸売市場）



	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
平成20年	2,354	2,590	2,900	2,401	2,558	2,526	2,238		
平成21年	2,476	2,722	2,548	2,202	3,572	2,653	1,992		
平年	2,446	2,435	2,601	2,427	2,812	2,718	2,321		

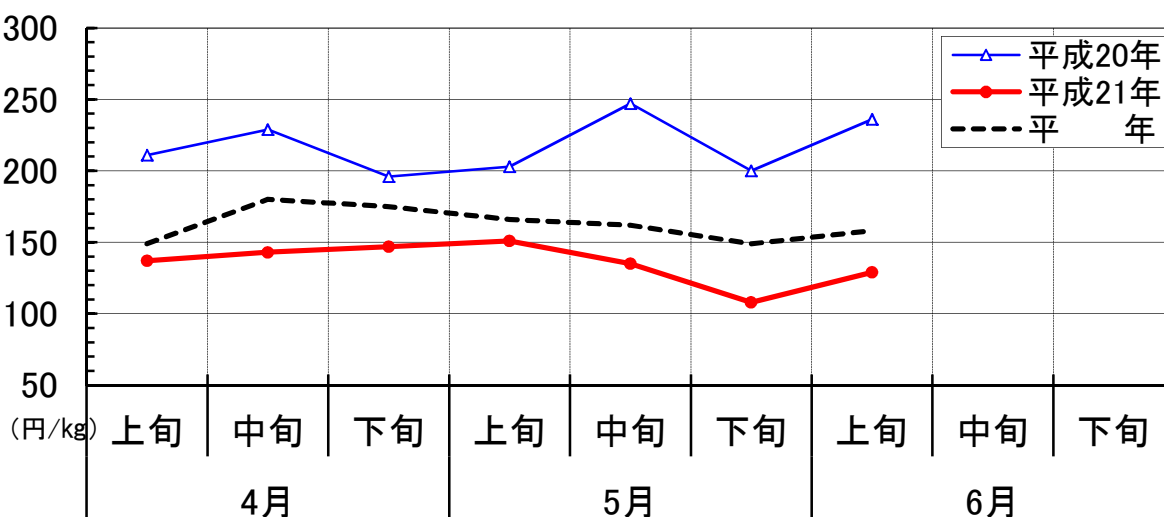
資料：東京青果物情報センター「東京都中央卸売市場における青果物の産地別入荷数量及び価格」

注：平年とは、過去5カ年（平成15年～19年）の旬別価格の平均値である。

出典：東京青果物情報センター

価格動向

（東京都中央卸売市場）



	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
平成20年	211	229	196	203	247	200	236		
平成21年	137	143	147	151	135	108	129		
平年	149	180	175	166	162	149	158		

資料：東京青果物情報センター「東京都中央卸売市場における青果物の産地別入荷数量及び価格」

注：平年とは、過去5カ年（平成15年～19年）の旬別価格の平均値である。

出典：東京青果物情報センター

2 生産出荷をめぐる状況

(1) 供給計画

平成21年のにんじんの供給計画によると、全農が3月に策定した当初計画(8月～10月)においては、作付面積は対前年比100%(系統共販分)、10アール当たり収量105%を見込み、収穫量は105%、出荷量は108%としたところである。確定計画の策定は7月末であり、未定である。

○当初計画

作付面積 (ha)			10a 当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
21年	20年	前年比	21年	20年	前年比	21年	20年	前年比	21年	20年	前年比
4,053	4,051	100	4,347	4,124	105	176,200	167,050	105	145,708	135,037	108

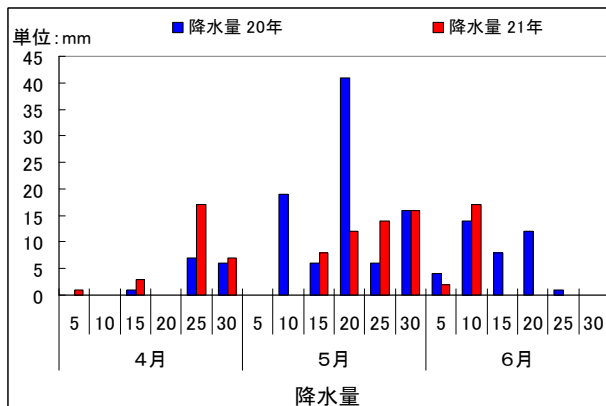
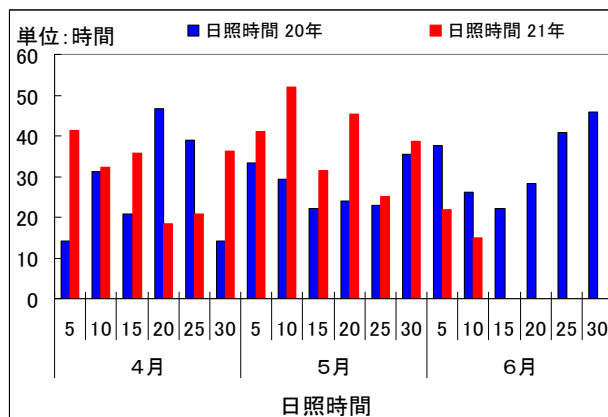
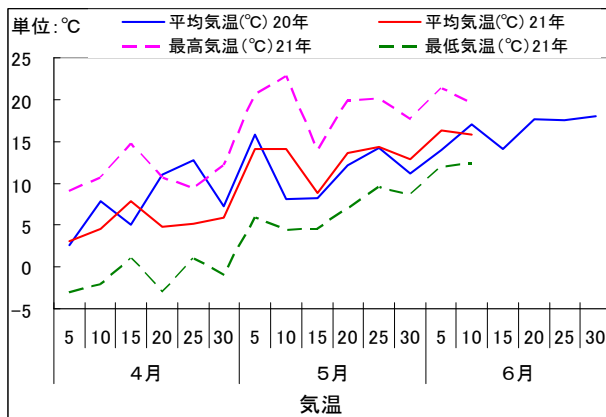
(2) 生産(生育)・出荷状況

資料3-4のとおり

(3) 天候

①これまでの気象の推移(北海道 富良野)

平均気温は4月は前年を下回る推移となったが、5月以降回復し、5月～6月上旬の積算で前年比109%となっている。日照時間は5月は前年を上回る推移となっていたが、直近の6月上旬は58%と落ち込んでいる。降水量は5月中旬以降前年より多くなっており、5月下旬～6月上旬は積算で122%となっている。



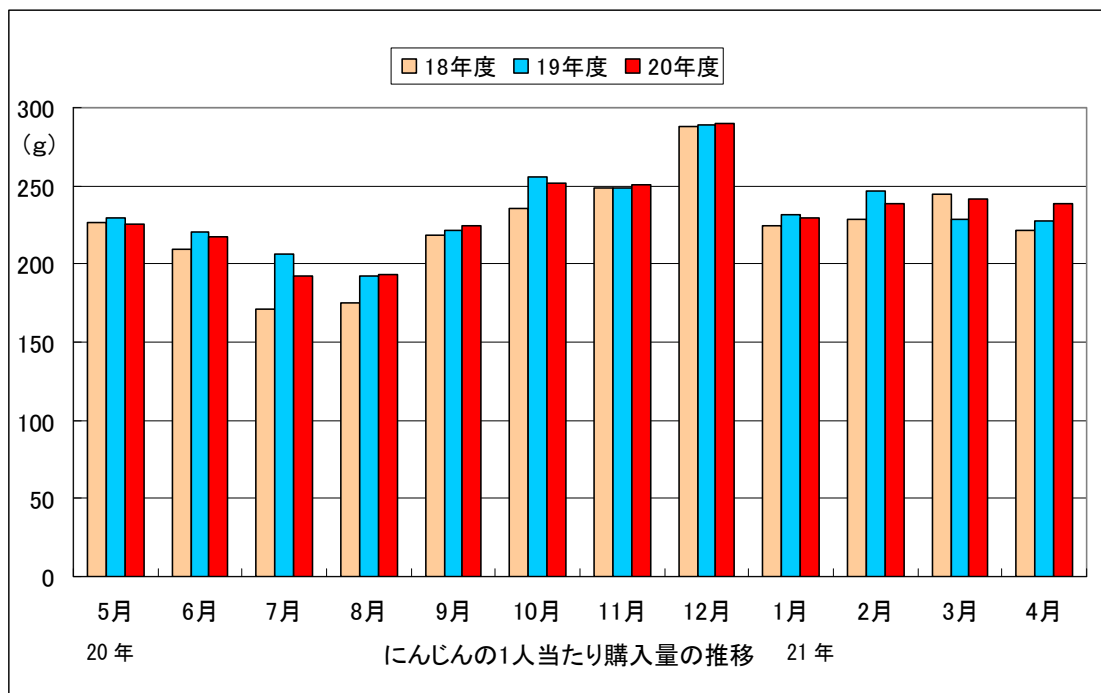
資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」、
 原資料: 気象庁「AMeDAS」

3 需要動向

(1) 家計消費

① 1人当たり購入数量量

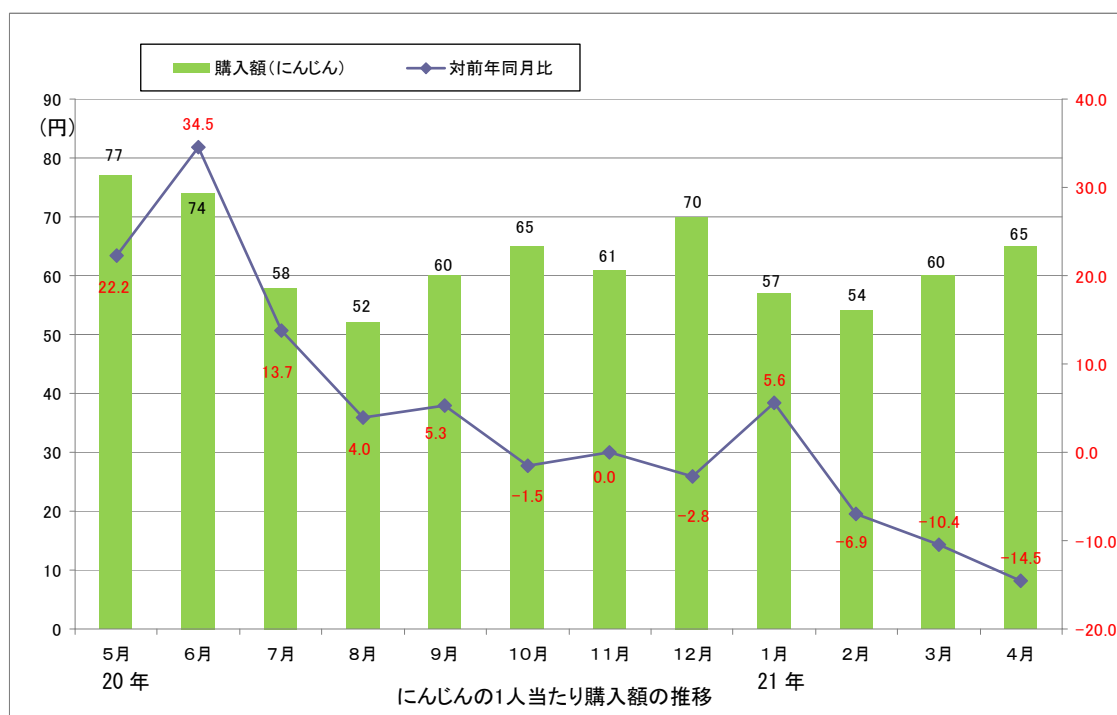
20年度は徳島・関東産の不作で6月をピーク3月から7月にかけて平年を大きく上回る価格推移となった。このため、同期間において、購入数量が前年を下回る傾向が続いた。



資料：家計調査報告（総務省）

② 1人当たり購入金額

小売価格が大きく伸張した20年6月が購入金額のピークになっている。21年4月からは顕著な安値傾向となっており、小売価格の低落に伴い、購入金額も前年を割り込んでいる。



資料：家計調査報告（総務省）

1. 入荷量と価格の推移

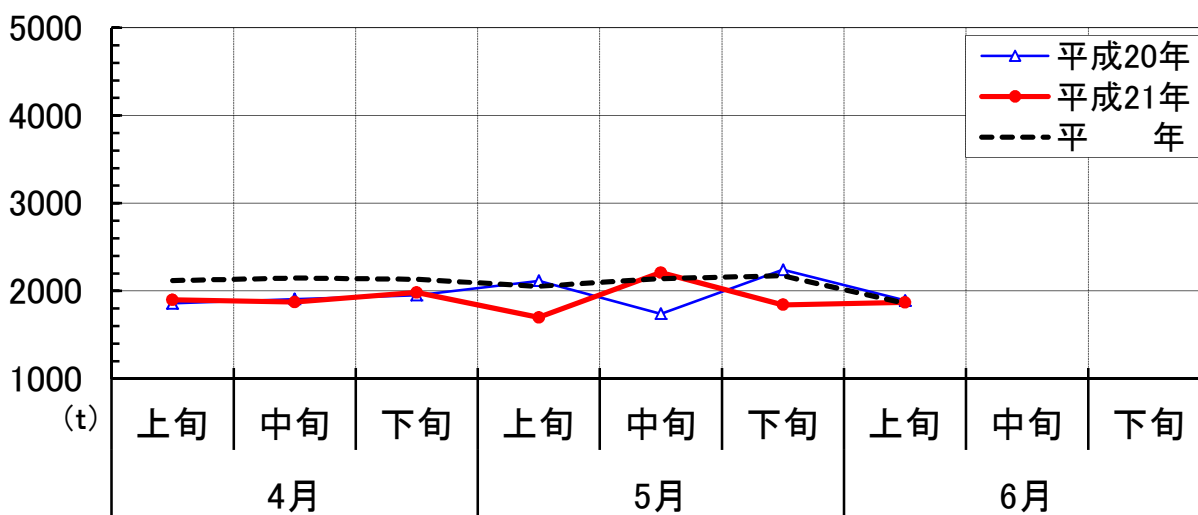
【はくさい】（主な産地：長野、茨城）

○3月下旬の低温の影響から4月、5月の入荷量は平年を下回って推移し、6月上旬は平年並みとなった。

○4月から5月の価格は入荷量の減少から平年を上回った。6月上旬は入荷量の増加にともない平年並みとなった。

入荷動向

（東京都中央卸売市場）



	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
平成20年	1,859	1,908	1,951	2,115	1,740	2,241	1,891		
平成21年	1,899	1,872	1,982	1,698	2,209	1,842	1,870		
平年	2,117	2,148	2,132	2,052	2,139	2,174	1,860		

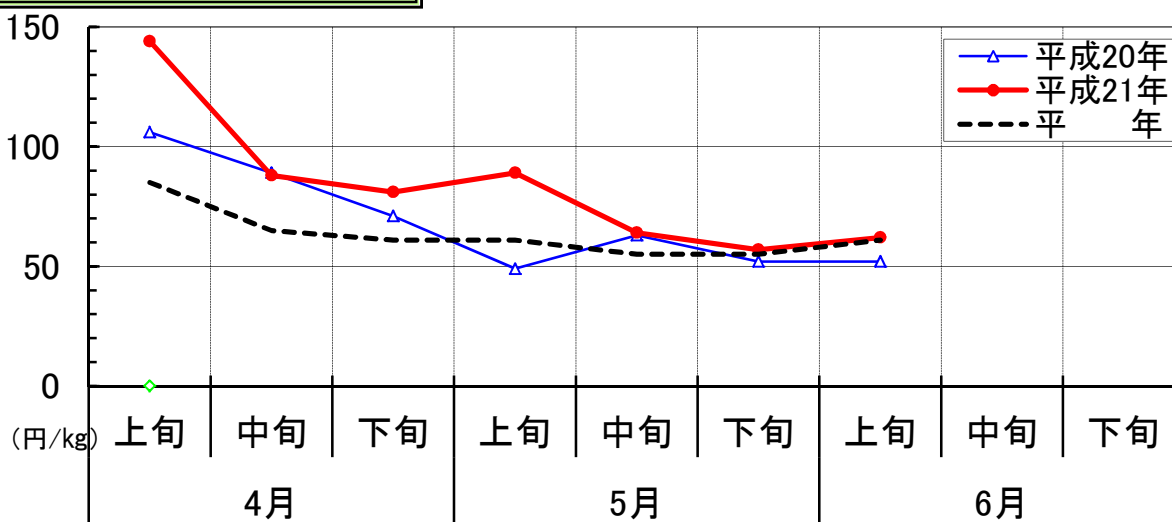
資料：東京青果物情報センター「東京都中央卸売市場における青果物の産地別入荷数量及び価格」

注：平年とは、過去5カ年（平成15年～19年）の旬別価格の平均値である。

出典：東京青果物情報センター

価格動向

（東京都中央卸売市場）



	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
平成20年	106	89	71	49	63	52	52		
平成21年	144	88	81	89	64	57	62		
平年	85	65	61	61	55	55	61		

資料：東京青果物情報センター「東京都中央卸売市場における青果物の産地別入荷数量及び価格」

注：平年とは、過去5カ年（平成15年～19年）の旬別価格の平均値である。

出典：東京青果物情報センター

2 生産出荷をめぐる状況

(1) 供給計画

平成 21 年のはくさいの供給計画によると、全農が 2 月に策定した当初計画(7 月～10 月)においては、作付面積は対前年比 100% (系統共販分)、10 アール当たり収量 101%を見込み、収穫量は 102%、出荷量は 102%としたところである。確定計画の策定は 6 月末であり、未定である。

○当初計画

作付面積 (ha)			10a 当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比
2,167	2,157	100	8,179	8,075	101	177,240	174,188	102	114,723	112,664	102

(2) 生産(生育)・出荷状況

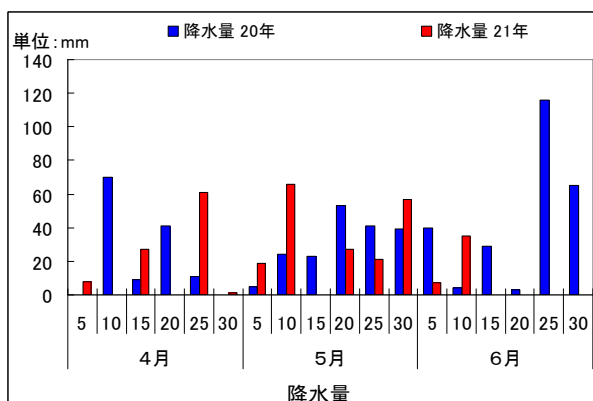
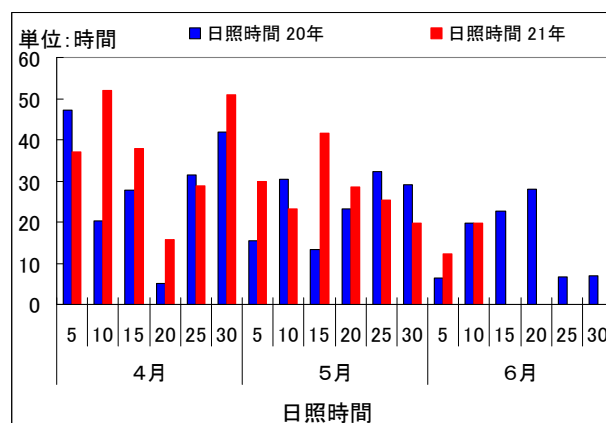
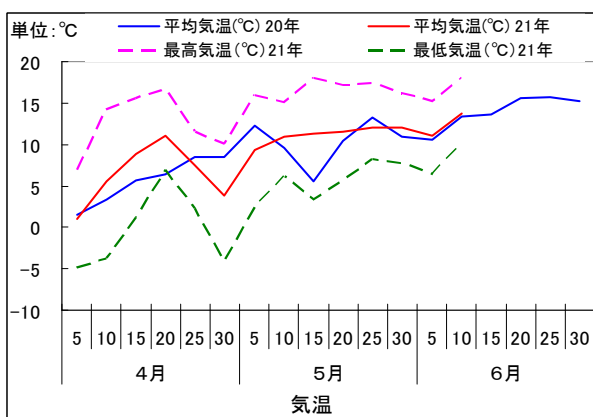
資料 3-4 のとおり

(3) 天候

①これまでの気象の推移(長野県 南牧村)

気温は 4 月後半に入って 5℃近くも低下したが、5 月に入ってから回復し前年並みの水準で推移している。日照時間は前年に比べて 4 月で 137%、5 月で 117%、4 月から 6 月上旬の合計では 129%となっている。降水量は、4 月は対前年で 83%となったが、4 月から 6 月上旬までの合計では対前年で 94%となっている。

気温・降水も概ね前年並であるが、日照時間が多いのが特徴となっている。



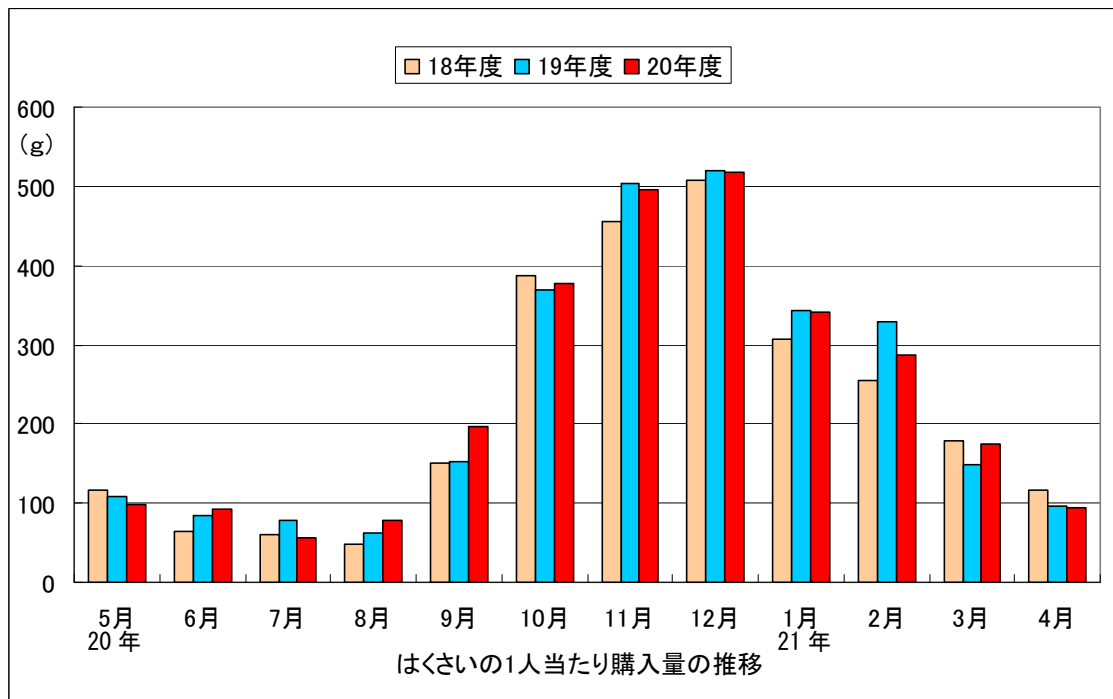
資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」、
原資料: 気象庁「AMeDAS」

3 需要動向

(1) 家計消費

① 1人当たり購入数量

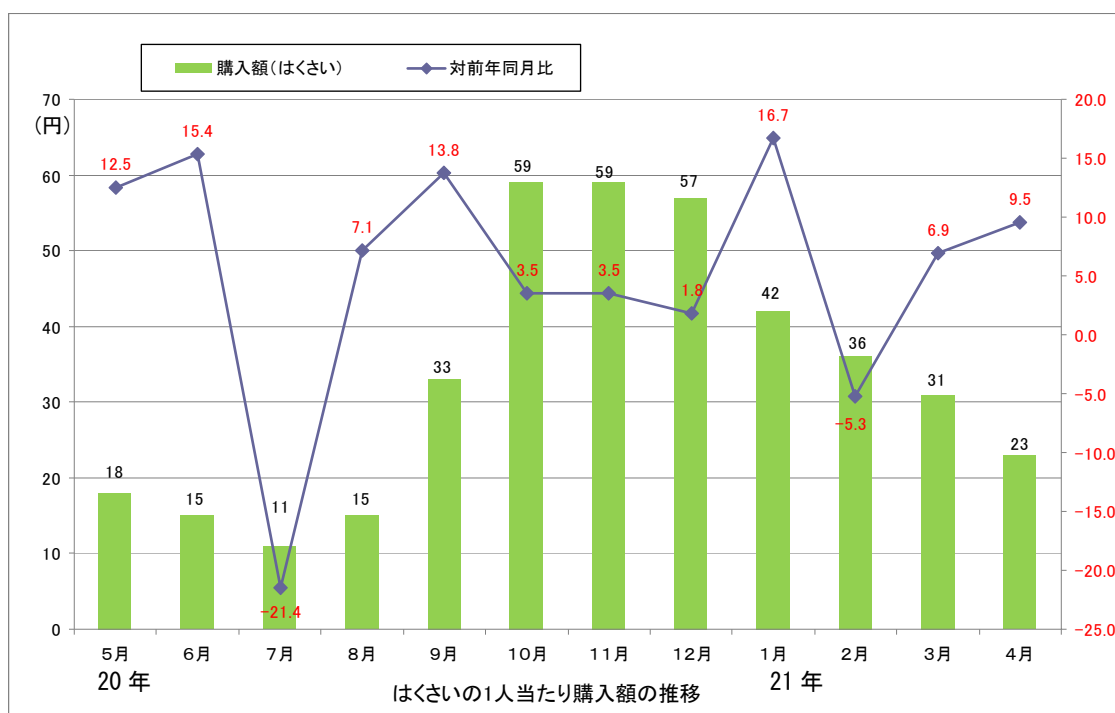
過去3年で購入量の推移に大きな変化はなし。秋冬の購入量が突出しており、11月～12月は約500gとキャベツ(約400g)を上回る。



資料：家計調査報告（総務省）

② 1人当たり購入金額

20年7月は価格の低落と購入量の減少があり、購入金額が低落した。1月は前年と比べ高値推移であったため購入金額が伸張した。2月は寒さが厳しかった20年の購入量を21年は下回ったため、購入金額においても21年は落ち込んでいる。



資料：家計調査報告（総務省）